

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 SN-TW83d	
シリアルNo.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から3年
お名前	様
お客様住所	
TEL ()	
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - 故障の原因が本製品以外にある場合
 - 本書のご提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - 本体内蔵のバックアップ電池、microSDカードなどの付属品および消耗品の消耗による交換
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

SUPER NIGHT

2カメラドライブレコーダー

Yupiteru

SN-TW83d

12V車専用

取扱説明書



このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機で使用する専用ビューアソフトは付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)



事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。



電源ONの状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。
microSDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

確認とご注意

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
もしも事故が起きたら・・・	10
SDカードをフォーマットする	12

基礎知識

各部の名称と働き	13
1. 付属品	15
2. 別売品	16
3. 付属品・別売品の購入について	16
SDカードの取り外し/装着	17
1. SDカードを本体から取り外す	17
2. SDカードを本体へ装着する	17
動画記録モード	18
録画について	19
1. 常時録画	21
2. イベント記録 (Gセンサー記録とワンタッチ記録)	21
3. 上書きモードについて	22
タイムラプスモードについて	24
1. タイムラプスモードを開始する	25
2. タイムラプスモードを終了する	25
メンテナンスについて	26
初期値について	27

すぐに使う

本機の取り付け	28
1. フロントカメラユニットを取り付ける	29
2. リアカメラユニットを取り付ける	31
3. リアカメラケーブルを接続する	32
4. 電源を接続する	33
別売品の取り付け	35
1. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法	35
2. 電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01) の接続方法	38

電源ON～OFFまでの手順	42
1. 電源ON(録画を開始する)	42
2. 録画を停止する	43
3. SDカードをフォーマットする	43
4. 録画を再開する	43
5. ワンタッチ記録をする	44
6. 画面表示を切り替える	44
7. 電源OFF(録画を停止する)	44

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法	47
1. 設定メニューを表示する	47
2. 録画を再開する	47
設定メニュー	48
SD初期化(フォーマット)	50
1. SDカードをフォーマットする	50

再生する

再生モードの表示・再生方法	51
1. 再生モードを表示する	51
2. 本機で録画ファイルを再生する	51
3. 再生中の録画ファイルを一時停止する	52
4. 録画を再開する	53
再生モード	54
録画ファイルの保護/保護解除 ・削除について	56
1. 操作メニューを表示する	56
2. 録画ファイルを保護する	58
3. 録画ファイルの保護を解除する	59
4. 録画ファイルを削除する	60

専用ソフト

専用ビューアソフトで再生する	61
1. 専用ビューアソフトをインストールする	61
2. 専用ビューアソフトを起動する	61
3. 録画ファイルを再生する	61
4. 専用ビューアソフトを終了する	62
専用ビューアソフト	63
1. 専用ビューアソフトの画面について	63

その他

録画ファイルの読み出しについて	66
1. 専用ビューアソフトを使用せずに 録画ファイルを再生する	67
こんなときは	68
故障かな?と思ったら	70
仕様	73
microSDカード対応一覧表	75
1. 録画時間の目安	75
2. イベント記録の最大記録ファイル数	75
索引	76
アフターサービス	78
1. お客様ご相談センター	78
保証書	裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ **危険**：「死亡または重傷を負うおそれ大きい」内容です。
- ⚠ **警告**：「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。
- ⚠ **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

⚠ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電のおそれがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.78「アフターサービス」

⚠ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

⚠ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

⚠ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

絵表示について

ⓘ 必ず実行していただく「強制」内容です。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

👉 関連するページを示します。

⊘ **サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



⊘ **本機を次のような場所に保管しないでください。**

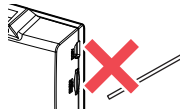
- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⊘ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

⊘ **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



⊘ **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**

電子機器などが誤作動するおそれがあり、重大な事故の原因となります。

⊘ **本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。**

爆発や火災の原因となります。

⚠ 注意

⊘ **結露したまま使い続けしないでください。**
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

⊘ **落としたり、強いショックを与えないでください。**

破損、故障の原因となります。

⊘ **各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**
故障の原因となります。

⚠ **SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

⊘ **濡れた手で操作しないでください。**
感電の原因となります。



⊘ **本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。**
故障の原因となります。

⚠ **本機は精密機械です。**

静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて(共通)

⚠ 警告

⚠ **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。**

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ **エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。**

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

⚠ **取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。**

本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

⚠ **突起部分などにご注意ください。**

取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをするおそれがあります。

⚠ **接続部は確実に奥まで差し込んでください。**

動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

⚠ **テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。**

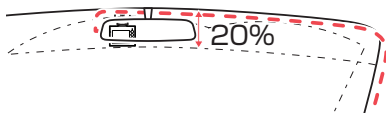
テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●取り付けについて(フロントカメラユニット)

⚠ 警告

- ❗ 取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けください。

※フロントガラスの下縁から15cm以内の取り付けが可能になりました。上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。



- ❗ 一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。

取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

●取り付けについて(リアカメラユニット)

⚠ 警告

- ❗ リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアトレイなどに取り付けください。

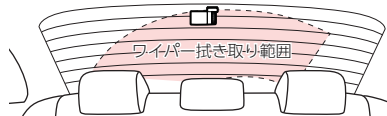
- ❗ 付属の両面テープで取り付ける前にフロントカメラユニットで映像の確認をしてください。

誤った方法で取り付けした場合、映像が上下反転します。

- ❗ 両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

- ❗ リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。

ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。



●電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。

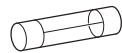
接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



交換ヒューズ2A
(20mm × 5.2mm)

- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

- ❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

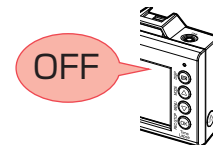
故障や感電の原因となります。



●SDカードについて

⚠ 警告

- ❗ SDカードの出し入れは、本機の電源OFFを確認して行ってください。



- ❗ SDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ❗ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

- ❗ 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

- ❗ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

- ❗ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。



- ❗ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お問い合わせいただいた販売店にご相談ください。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のガラスは常に清潔にしてください。
- ・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・事故発生時は、録画ファイルが書ききれないように必ずSDカードを保管してください。
- ・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損するおそれがあります。
 - ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※長期間使用しなかった場合。
 - ※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ SDカードに関する注意

- ・純正品以外のSDカードを使用した場合、正常に録画できないことがあります。付属品または別売品のSDカードを使用することをお勧めします。
- ・SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなる可能性があります。
- ・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・SDカードはデータの書き込みと消去を繰り返すことで断片化が進みSDカードエラーが起きやすくなります。本機は断片化しない独自のシステムを採用しており定期的なフォーマットは不要です。
- ・SDカードには寿命があります。SDカードのデータを記録する部分は多くのメモリーセクターで構成され、繰り返しデータの書き換えを行うとメモリーセクターは劣化する特性があります。劣化が進むとメモリーセクターの一部が破損し、正常に録画ができなくなる可能性があるため、定期的に新しいSDカードへの交換をお勧めします。(製品寿命はSDカードメーカーや使用状況により異なります)
- ・SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・重要な記録データは、パソコンへ保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- ・付属品以外のSDカードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- ・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。

■ 液晶パネルに関する注意

- ・表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損だけが原因となります。
- ・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損だけが原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

■ 取り付けに関する注意

- ・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やけがの原因となります。
- ・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ラジオアンテナ付近にリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 電源直結コードに関する注意

- ・電源直結コードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・電源直結コードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ ドライブレコーダー搭載ステッカーに関する注意

- ・ステッカーを貼り付ける場所を決め、貼り付け面の汚れや、油分、ワックスをあらかじめ取り除いてください。凸凹面、ザラザラ面には接着できない場合があります。
- ・接着後、定着に約1日かかりますのでその間、洗車などは控えてください。
- ・保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けしないでください。
- ・ステッカー素材は、屋外での使用を想定した素材を使用しておりますが、使用時間や条件により退色やヒビ割れ等の劣化が生じる場合があります。また、飛び石、風圧、事故やその他の不可抗力ではがれる場合もあります。
- ・再塗装や塗装面の傷んでいる場所に貼ると、ステッカーを剥がす際に、塗装がはがれたり、傷める場合があります。
- ・長期間の使用や貼り付け面の材質により、ステッカー貼り付け面は退色具合の異なりで跡が残る場合があります。

■ GPS測位に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
- ・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 真夏などの炎天下での注意

- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げから3年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。

SDカードの保管

保管場所について…

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損するおそれがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉

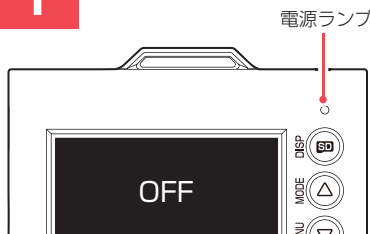


〈腐食性ガス〉

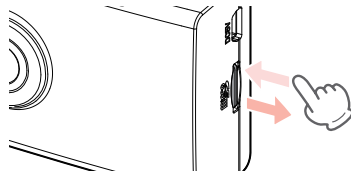
■ 付属品の電源直結コード接続時

付属の電源直結コードを接続した状態で事故が起きた場合のSDカード保管方法。

1 車両のエンジンをOFFする



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

3 SDカードを保管する

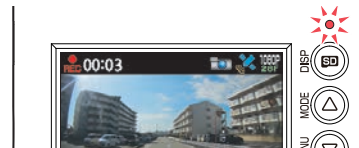
■ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニット接続時

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続した状態で走行時または駐車時に事故が起きた場合のSDカード保管方法。

走行時に事故が起きた場合

駐車時に事故が起きた場合

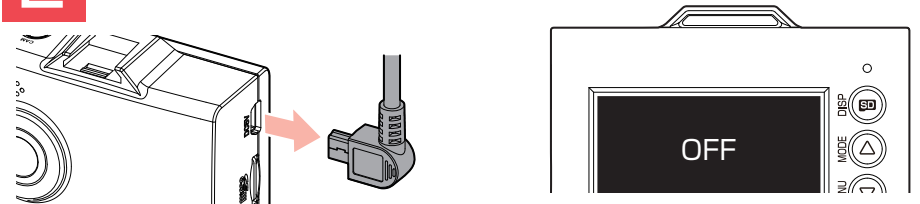
1 車両のエンジンをOFFする



駐車記録を行います。

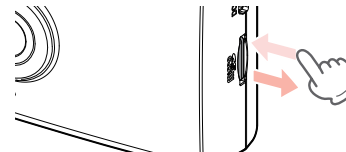
※別売品の設定によっては電源OFFします。

2 フロントカメラユニットのDCジャックから電源コードを取り外す



電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

3 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

4 SDカードを保管する

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。

下記の操作は「**SD** ボタン」を使うフォーマット方法です。**SD** ボタンを3秒以上長押しすると、すぐにフォーマット画面が表示されます。

※フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

※タイムラプスモード中は、フォーマット画面を表示することはできません。タイムラプスモードを終了してから行ってください。(P.25)

※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

SDカードフォーマットの手順

1 車両のエンジンをONする



電源ランプ(赤)が点灯、録画アイコンを表示して録画を開始します。

2 **OK** ボタンを押す



録画を停止します。
録画停止中は電源ランプ(緑)が点灯、録画アイコンの表示が消えます。

3 **SD** ボタンを3秒以上長押しする



フォーマット画面を表示します。

4 **▽** ボタンを押して[実行]を選択し、**OK** ボタンを押す



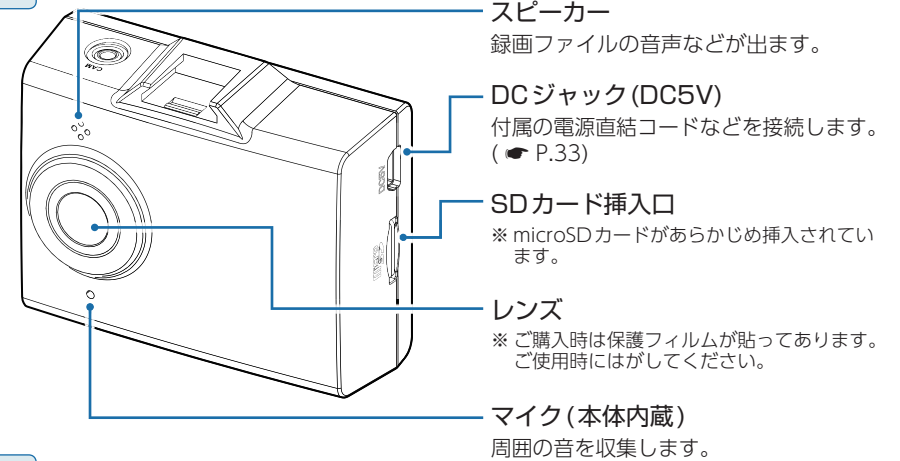
「SDカードの初期化が完了しました」と数秒表示し、フォーマットは完了します。完了後は自動で録画を再開します。

設定メニューからフォーマットする場合は、P.50を参照ください。

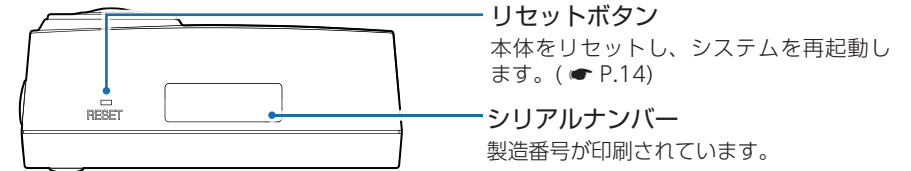
各部の名称と働き

■ 本体(フロントカメラユニット)

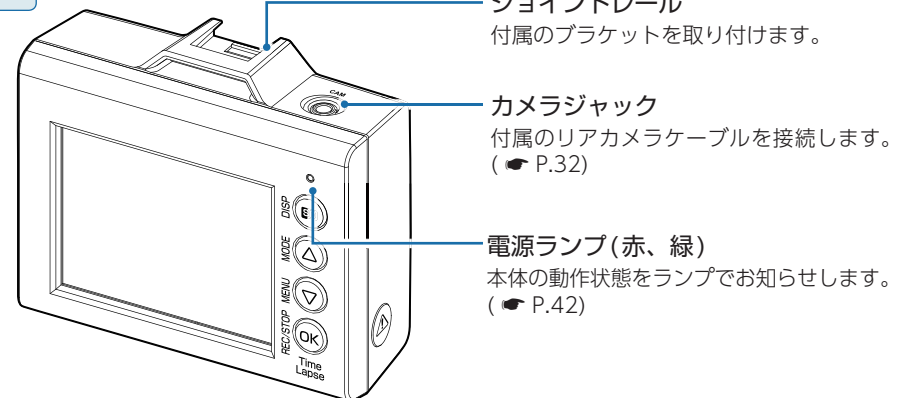
正面



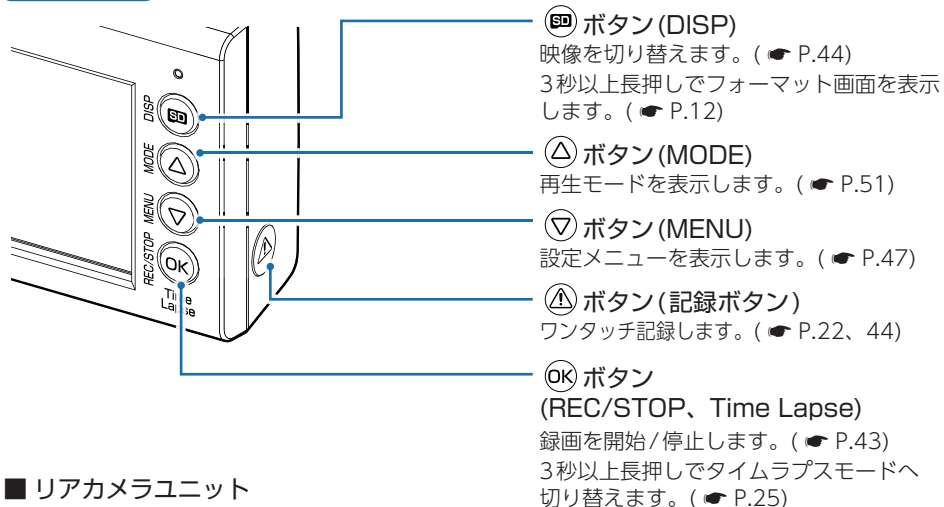
下面



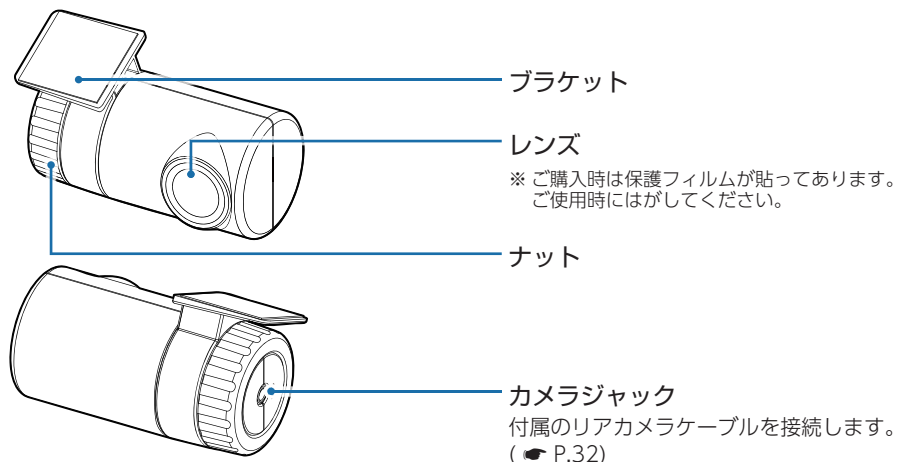
背面



操作ボタン



リアカメラユニット



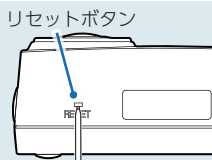
リセットボタンについて

画面が固まって動かない。

ボタンを押しても反応しない。

こんなときは

リセットボタンを押して再起動してください。



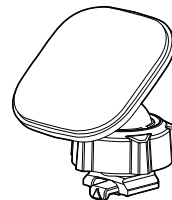
動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、フロントカメラユニット下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。
※リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。また、設定が初期化することはありません。

1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

■ ブラケット2

・フロントカメラ用 (P.29)

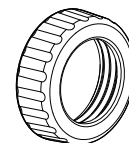


・リアカメラ用 (P.31)



※フロントカメラ用ブラケットには、両面テープが貼り付けてあります。

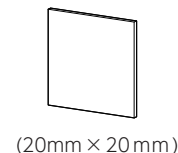
■ リアカメラ用ナット1



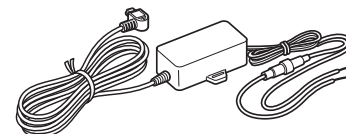
■ リアカメラケーブル(約9m)
(P.32) 1



■ リアカメラ用両面テープ 1



■ 5V コンバーター付電源直結コード
(約4m) (P.33) 1



■ ドライブレコーダー搭載
ステッカー 1

※保安基準上、フロントガラスおよび運転席、助手席のサイドガラスやレンズ類等には絶対に貼り付けしないでください。

■ microSD カード(16GB) 1
(本体にあらかじめ装着されています。)

■ 取扱説明書・保証書(本書) 1

・本機には、お買い上げの日から3年間の製品保証がついています。
ただし、SDカード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。

・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。

・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

・どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒に買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店に純正品のSDカードをご注文ください。

2. 別売品

■ 電圧監視機能付 電源ユニット※¹

OP-VMU01 本体 6,000円 + 税

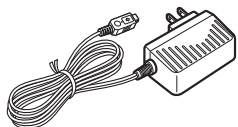
車両バッテリーに繋げて駐車記録を行う、オフタイマー設定・車両バッテリー電圧監視機能付きの電源ユニットです。(● P.38)

本体……………	1
入力コード……………	1
両面テープ……………	1

■ ACアダプター OP-E368

本体 3,000円 + 税

ご家庭で使用することができます。



※1：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

■ マルチバッテリー OP-MB4000 (12V車専用) 本体 23,000円 + 税

エンジンをOFFにすると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。(最大約12時間)
(● P.35)

本体……………	1
入力コード……………	1
出力コード……………	1
面ファスナー……………	1

3. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiter スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

※本機は、8GB以上、32GB以下のmicroSDHCカードに対応しています。

(SDスピードクラス「Class 10」以上)

⚠ 注意

- ・電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。
- ・SDカードは一方方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

1. SDカードを本体から取り外す

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付 電源ユニットを接続している場合は、初めにフロントカメラユニットから電源コードを取り外してください。(● P.11)

1-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

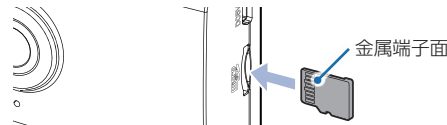
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両のエンジンをOFFする

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

※SDカードの向きに注意して挿入してください。

動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。



No.	表示名	説明
①	録画アイコン	録画中に表示します。
②	記録時間 ^{※1※2}	録画中に現在の映像の録画時間を表示します。
③	イベント記録アイコン	イベント記録中に表示します。
④	音声録音 OFF アイコン	音声録音設定が [OFF] の時に表示します。(P.48)
⑤	リアカメラアイコン	リアカメラの接続状態をアイコンで表示します。
⑥	GPS アイコン ^{※3}	GPS の状態をアイコンで表示します。
⑦	解像度 / フレームレート アイコン	フロント / リアカメラの解像度とフレームレートを表示します。 1080P : 1980 × 1080、720P : 1280 × 720 28F : 28 コマ / 秒、14F : 14 コマ / 秒、1F : 1 コマ / 秒
⑧	G センサー記録ファイル数	現在の G センサー記録ファイル数 / 最大記録ファイル数を表示します。
⑨	ワンタッチ記録ファイル数	現在のワンタッチ記録ファイル数 / 最大記録ファイル数を表示します。

※1：タイムラプスモード中はフレームレートは1コマ/秒で固定になり、1ファイル単位が14分または7分になります。

※2：1ファイル単位(30秒)の記録時間になります。(例 00:29→00:00→00:01…)

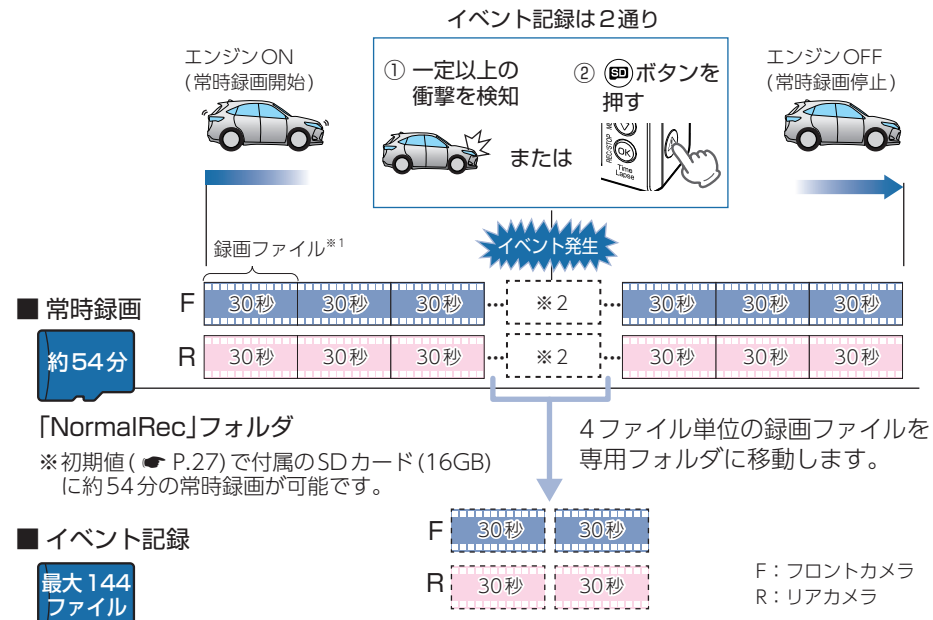
※3：タイムラプスモード中は非表示になります。

■ 動画記録モード時のボタン機能

ボタン	機能
⏮ ボタン	短押し フロントカメラとリアカメラの映像を切り替えます。(P.44)
	長押し 録画停止中に3秒以上長押しでフォーマット画面を表示します。(P.12)
⏮ ボタン	短押し 再生モードを表示します。(P.54)
⏮ ボタン	短押し 設定メニューを表示します。(P.48)
OK ボタン	短押し 録画を開始 / 停止をします。
	長押し 録画中に3秒以上長押しでタイムラプスモードへ切り替えます。(P.24)
⏮ ボタン	短押し 録画中に押すとワンタッチ記録を行います。(P.21、44)

録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



「NormalRec」フォルダ …… G センサー記録

「EVSW」フォルダ …… ワンタッチ記録

※初期値 (P.27) で付属のSDカード(16GB)にGセンサー記録(72ファイル)とワンタッチ記録(72ファイル)を合わせて144ファイルのイベント記録が可能です。

※1：タイムラプスモード中は14分または7分の映像が1ファイルになります。(P.24)

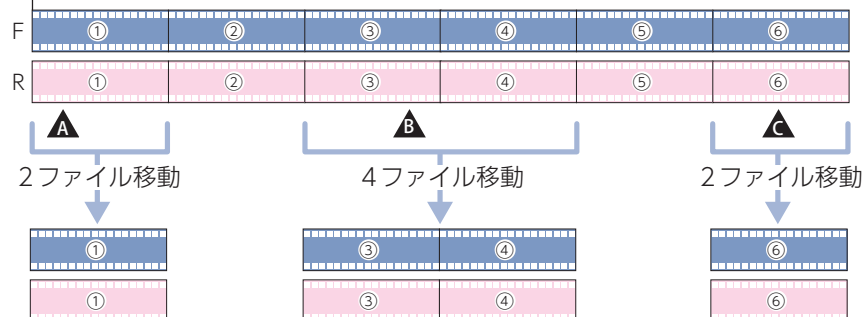
※2：イベント発生のタイミングによって移動するファイル/ファイル数は異なります。(P.20)

- ・お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、常時録画、イベント記録それぞれ古い録画ファイルから上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(P.22「上書きモードについて」)
- ・本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。
- ・本機に異常などがあった場合は、映像を記録することはできません。(P.68「こんなときは」)

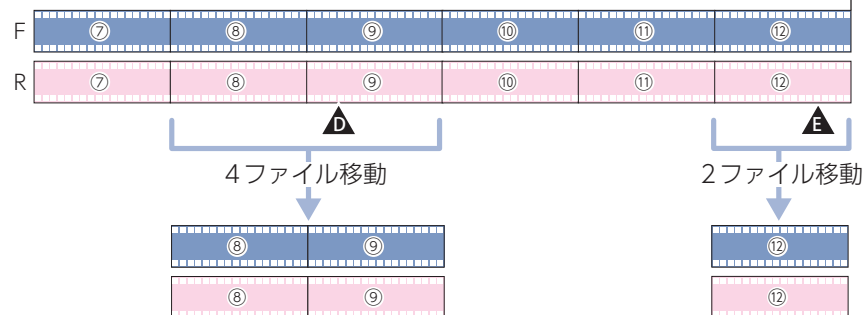
- A：イベント発生タイミングが録画開始直後 ① の「0～15秒」の場合
 B：イベント発生タイミングが録画終了前 ③ の「16～30秒」の場合
 C：タイムラプスモードでイベント発生タイミングが ⑥ の録画ファイル内の場合
 D：イベント発生タイミングが録画開始直後 ⑨ の「0～15秒」の場合
 E：イベント発生タイミングが録画終了前 ⑫ の「16～30秒」の場合

F：フロントカメラ
 R：リアカメラ

録画開始



録画停止



1. 常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像をSDカードに常時録画します。録画開始時に『ピロロン』と音が鳴り、常時録画中は電源ランプ(赤)が点灯、録画アイコンを表示します。

※音量を[OFF]に設定している場合、音は鳴りません。(P.48)

・録画ファイル構成

1ファイルあたり約30秒で生成します。

・録画可能時間

初期値(P.27)で、付属のSDカード(16GB)に約54分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(P.75)

・上書きモード

初期値では上書きモードが[全て上書き]のため、54分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(P.22)

2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録にはGセンサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録開始時に『ピッ』と音が鳴り、画面上部にイベント記録アイコンを表示して電源ランプ(赤)が点滅します。

※音量を[OFF]に設定している場合、音は鳴りません。(P.48)

⚠ 注意

常時録画が停止(上書きモードが[上書き禁止]で常時録画のSDカード容量が上限に達した場合)した場合、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録ファイル数にかかわらず行うことはできません。(P.22「上書きモードについて」)

・録画ファイル構成

常時録画の録画ファイル構成と同様になります。

※イベント発生タイミングによって移動するファイル/ファイル数は異なります。(P.20)

・最大記録ファイル数

付属のSDカード(16GB)に、Gセンサー記録とワンタッチ記録それぞれ72ファイル(合計144ファイル)のイベント記録が可能です。解像度の設定、SDカード容量によって最大記録ファイル数は異なります。(P.75)

・上書きモード

初期値では上書きモードが[全て上書き]のため、ファイル数がそれぞれ72ファイルを超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(P.22)

■ Gセンサー記録

Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルをSDカードの「Gsensor Rec」フォルダに移動します。

※初期値では[Gセンサー記録：ON]となります。設定で[OFF]にすることもできます。
(☛ P.48「設定メニュー」)

・Gセンサー感度

Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の数値は全て[1.0G]となります。(☛ P.48「設定メニュー」)



■ ワンタッチ記録(手動録画)

常時録画中にⒶボタンを押すと、録画ファイルをSDカードの「EVSW」フォルダに移動します。



⚠ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.48「設定メニュー」)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き※1	常時録画ファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
全て上書き※1 (初期値)	全ての録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

※上書きはそれぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。

※1：保護したファイルは、上書きされません。保護したファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除して削除するか、SDカードをフォーマットしてください。(☛ P.12、50)

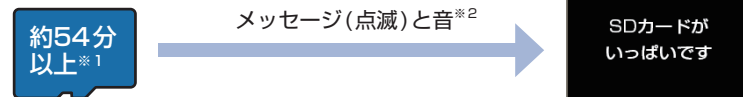
■ 上書き禁止

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。

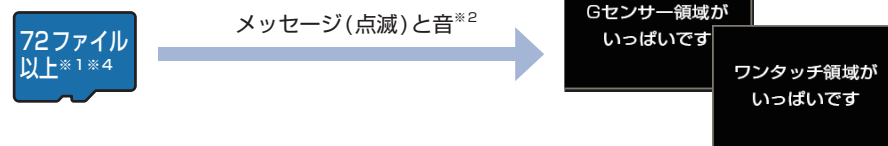
例①：イベント記録が最大記録ファイル数(※4)に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画がSDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらに、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録ファイル数にかかわらず記録を行うことはできません。

常時録画



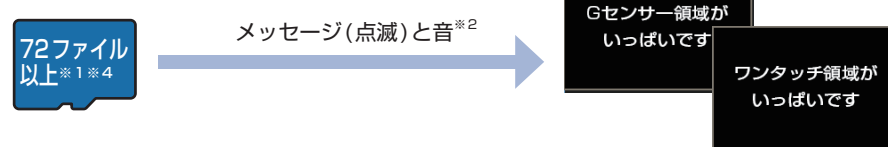
イベント記録(Gセンサー記録/ワンタッチ記録)



■ 常時録画上書き※3

常時録画はSDカード容量の上限に達すると、古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。イベント記録は、最大記録ファイル数(※4)に達した時点で、記録を停止します。

イベント記録(Gセンサー記録/ワンタッチ記録)



■ 全て上書き(初期値)※3

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

※1：時間/ファイル数は解像度の設定、SDカードの容量により異なります。(☛ P.75)

※2：音はメッセージの開始時に数秒間鳴ります。音量を[OFF]に設定している場合、音は鳴りません。

※3：保護したファイルは、上書きされません。保護したファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除して削除するか、SDカードをフォーマットしてください。(☛ P.12、50)

※4：最大記録ファイル数に対して、空きが3ファイル以下の場合もイベント記録は停止します。

メッセージ表示を止める場合は、各ボタンを押してください。

タイムラプスモードについて

駐車中の長時間録画に対応するため、フレームレートを「1コマ/秒」に変更し記録を行うタイムラプスモード(駐車監視)があります。別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)または、電圧監視機能付電源ユニット(OP-VMU01)を接続して駐車記録を行う場合にご使用ください。

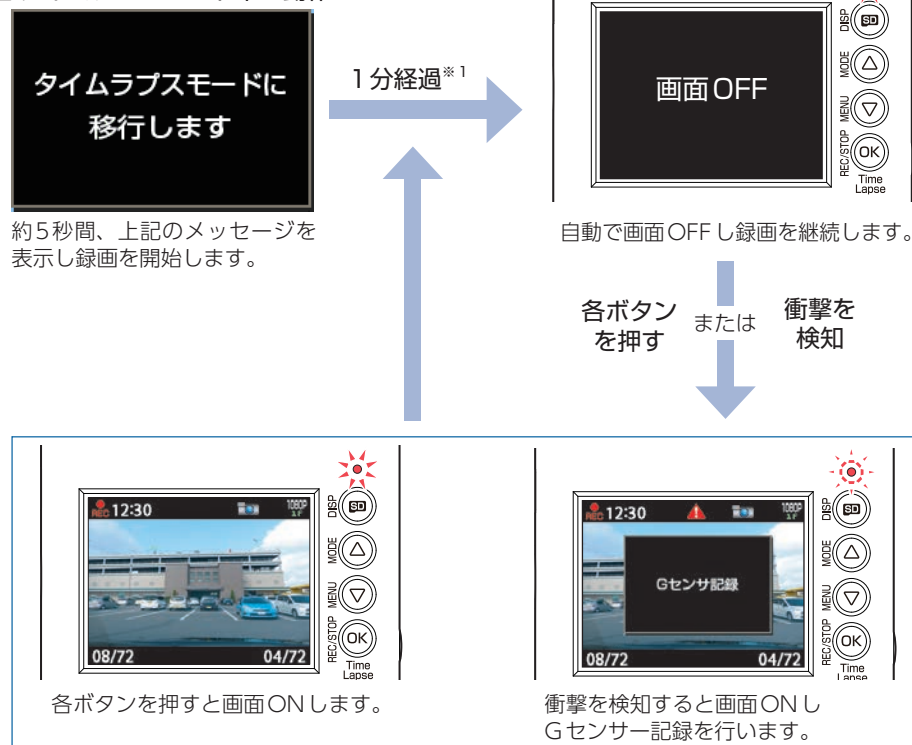
※タイムラプスモード中は、[設定][再生][ワンタッチ記録][録画停止]を行うことはできません。あらかじめご了承ください。

※タイムラプスモード中は、GPSデータを記録しないため、再生時に地図などは表示されません。
※上書きモードを[上書き禁止]にした場合、タイムラプスモード(駐車監視)中に録画ファイルがSDカード容量の上限に達すると「SDカードがいっぱいです」と表示し、電源OFFします。タイムラプスモードを使用する場合は、上書きモードを[上書き禁止]以外に設定することをお勧めします。(P.22)

※タイムラプスモード中は、フレームレートが「1コマ/秒」に固定されます。そのため14分または7分の映像が1ファイルになり、再生すると早送りの映像になります。1ファイルの記録時間は解像度で設定したフレームレートが反映されます。(28:14分、14:7分)

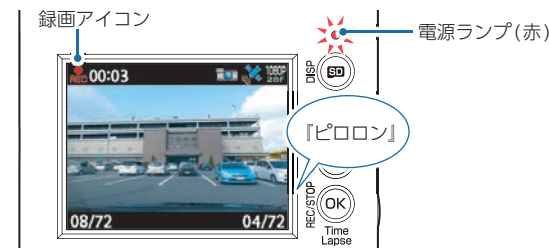
※別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)、または電圧監視機能付電源ユニット(OP-VMU01)を接続して駐車記録(タイムラプスモード)を行う場合、一度に記録できる最大継続時間は約12時間です。

■ タイムラプスモード中の動作



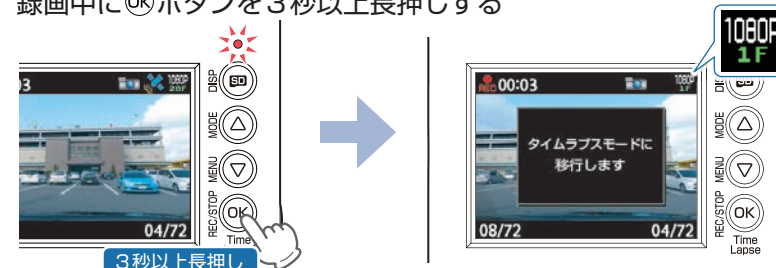
1. タイムラプスモードを開始する

1-1 車両のエンジンをONする



電源ランプ(赤)が点灯、録画アイコンを表示し録画を開始します。

1-2 録画中にⓀボタンを3秒以上長押しする

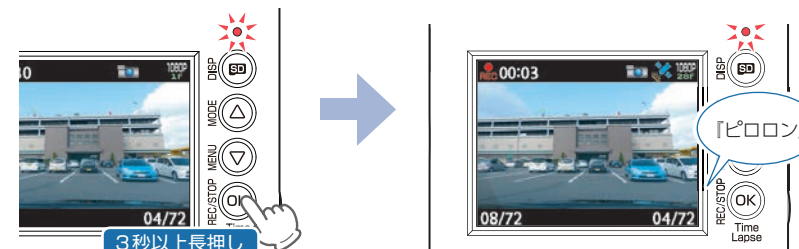


『タイムラプスモードに移行します』と表示し、タイムラプスモードで録画を開始します。

※タイムラプスモード中はフレームレートが1コマ/秒になりアイコンが「1F」、GPSアイコンが非表示になります。

2. タイムラプスモードを終了する

2-1 タイムラプスモード中にⓀボタンを3秒以上長押しする



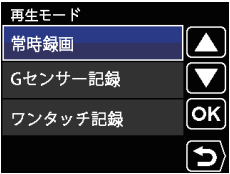
タイムラプスモードを終了し、自動で録画を開始します。

※本体の電源OFFでもタイムラプスモードは終了します。

タイムラプスモード中の映像について…

タイムラプスモード中の映像は、通常の録画ファイルと同様に常時録画は「Normal Rec」フォルダ、Gセンサー記録は「GsensorRec」フォルダに記録されます。

本体で再生する場合は、フォルダ選択画面の「常時録画」または「Gセンサー記録」から選択してください。



<フォルダ選択画面>

メンテナンスについて

■ 必要に応じてのメンテナンス

・ 付属の電源直結コードのヒューズ交換

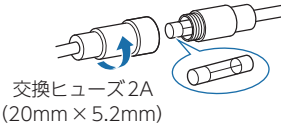
※ 交換用ヒューズ 2A (20mm × 5.2mm)

接続状態でエンジンをかけても電源 ON にならない場合は、電源直結コードのヒューズ (2A) が切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、電源直結コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



・ 別売品のヒューズ交換

※ マルチバッテリー (OP-MB4000) : 交換用ヒューズ 6A (30mm × 6.0mm)

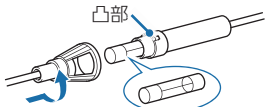
※ 電圧監視機能付 電源ユニット (OP-VMU01) : 交換用ヒューズ 3A (30mm × 6.4mm)

接続状態でエンジンをかけても電源 ON にならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないか確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダー先端を、押しながる図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながる図の矢印と逆方向に回す。



OP-MB4000 : 交換ヒューズ 6A (30mm × 6.0mm)

OP-VMU01 : 交換ヒューズ 3A (30mm × 6.4mm)

初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説明
解像度	1080 / 1080 28	フロントカメラの解像度：1920 × 1080 リアカメラの解像度：1920 × 1080 フレームレート：28 コマ / 秒で録画します。
音声録音	ON	映像と同時に音声も録音します。
G センサー記録	ON	一定以上の衝撃を検知すると、G センサー記録を行います。(P.22「G センサー記録」)
G センサー感度 (X)	1.0G	X (前後方向) の衝撃感度を 1.0G に設定しています。
G センサー感度 (Y)	1.0G	Y (左右方向) の衝撃感度を 1.0G に設定しています。
G センサー感度 (Z)	1.0G	Z (上下方向) の衝撃感度を 1.0G に設定しています。
上書きモード	全て上書き	SD カードの上限に達すると、全ての録画ファイルを上書きします。 (P.22「上書きモードについて」)
リアカメラ	正像	リアカメラで撮影する映像を正像で記録します。
音量	80%	本機の音量を 80% に設定しています。 ※ 音量は起動音、操作音、常時録画 / イベント記録開始時の音、メッセージの音、録画ファイル再生音に反映されます。 ※ 音量を個別に設定することはできません。
画面自動オフ	常時 ON	画面は常に ON の状態です。

※ 初期値を変更する場合は、 P.47 ~ 50 を参照ください。

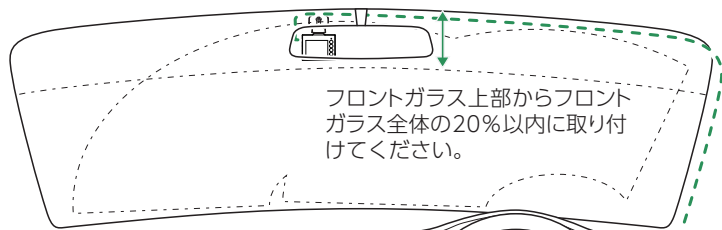
本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

■フロントカメラユニット

- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置にしっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



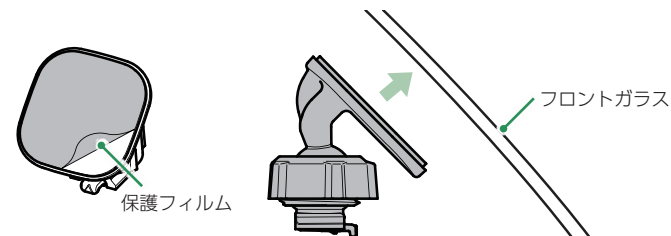
■リアカメラユニット

- ・リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアカメラユニットはリアトレイなどに取付けてください。
- ・リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られている車両は、夜間や暗い場所では記録映像が見えづらくなる場合があります。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見えづらくなる場合があります。
- ・リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
- ・ラジオアンテナ付近にリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。

1. フロントカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 フロントカメラ用ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける

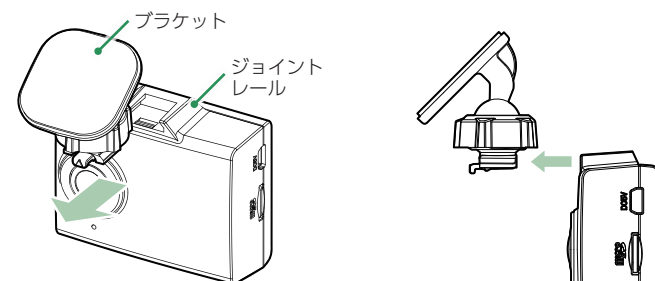


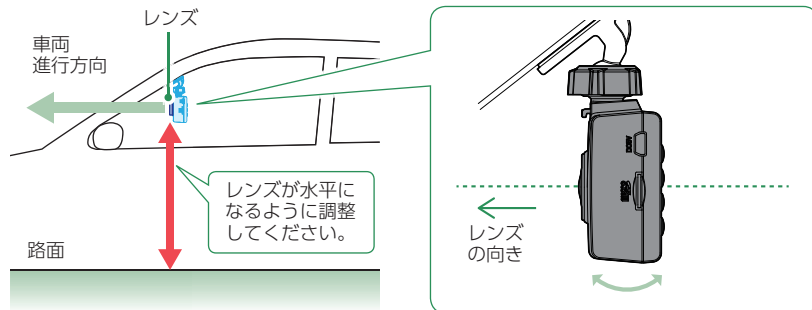
ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落するおそれがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付せず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

1-2 フロントカメラ用ブラケットをフロントカメラユニットのジョイントレールに合わせ、矢印の方向にスライドさせて装着する

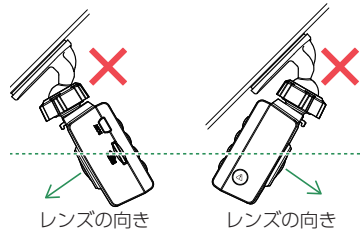




※カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、手の脂分などでレンズが汚れ、鮮明な映像が撮れなくなるおそれがあります。触れてしまった場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。

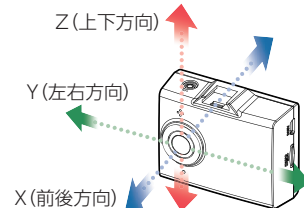
※正しくGセンサー記録を動作させるには、必ずレンズの向きが、車両進行方向と水平になるように調整してください。



Gセンサー感度について

Gセンサー感度は右図の3方向(XYZ)で設定します。

設定範囲は0.5 G (敏感) ~ 4.0 G (鈍感) の0.1 G単位で設定できます。(P.48)



1-3 ナットを締めて固定する



■ 取り外し方法

- ①ロック解除レバーを持ち上げる
- ②本体を矢印の方向へスライドさせる



※確実にナットで固定してください。走行中に落下するおそれがあります。

※ナットを締めた後は本体の向きを調整しないでください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。ナットを緩めてから調整してください。

※ナットを緩める場合は、本体を回さずにナットを緩めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。

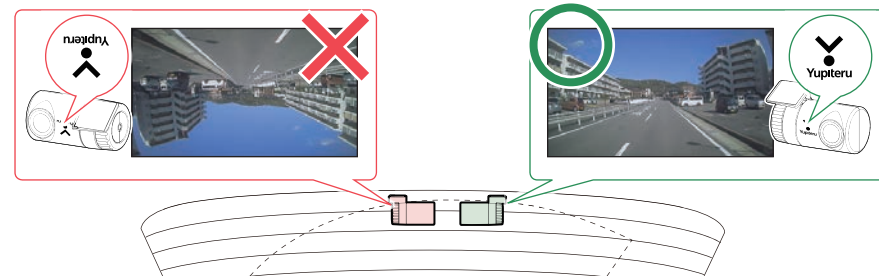
2. リアカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、リアガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

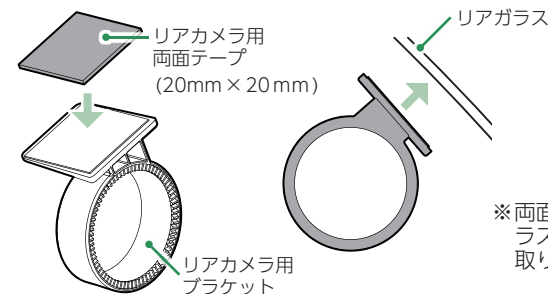
※リアカメラユニットを接続しなくても、フロントカメラユニットのみで録画をすることができます。必要に応じてご使用ください。

⚠ 注意

付属の両面テープで取り付ける前にフロントカメラユニットで映像の確認をしてください。誤った方法で取り付けした場合、映像が上下反転します。



2-1 リアカメラ用ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、リアガラスに取り付ける



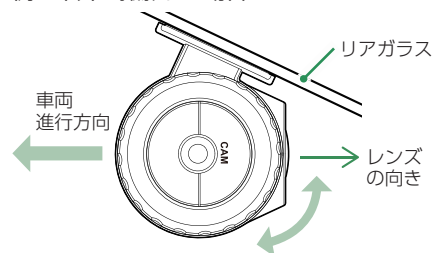
※両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

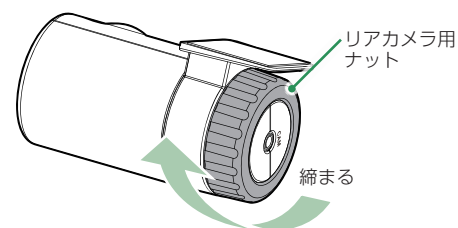
- ・リアガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をリアガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落するおそれがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がリアガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

2-2 リアカメラ用ブラケットにリアカメラユニットを装着し、レンズの向きを調整する

例：車外を撮影する場合



2-3 リアカメラ用ナットを締めて固定する



※確実にナットで固定してください。走行中に落下するおそれがあります。

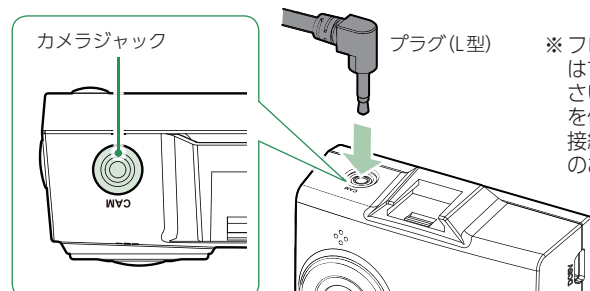
3. リアカメラケーブルを接続する

付属のリアカメラケーブルを接続することで、リアカメラの映像も記録できます。

※リアカメラケーブルのプラグをカメラジャックの奥までしっかり差し込んでください。プラグをしっかりと差し込まないと、リアカメラの映像を記録できない場合があります。

※プラグに無理な力を加えないでください。カメラジャック破損の原因となります。

3-1 フロントカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する

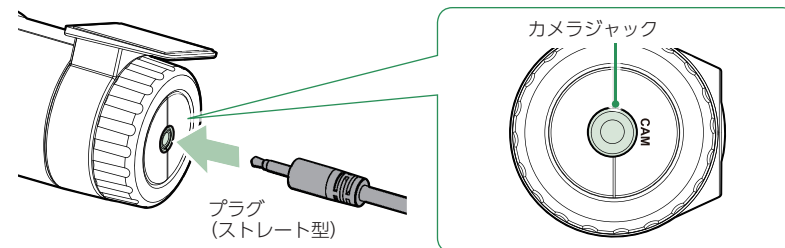


※フロントカメラユニットにはプラグ(L型)をご使用ください。プラグ(ストレート型)を使用した場合、ケーブル接続時に負荷がかかり断線のおそれがあります。

付属のリアカメラケーブルのプラグをフロントカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

3-2 リアカメラケーブルをリアガラスまで配線する

3-3 リアカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する



付属のリアカメラケーブルのプラグをリアカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

3-4 市販品のタイラップ(結束バンド)などを使い、リアカメラケーブルを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

4. 電源を接続する

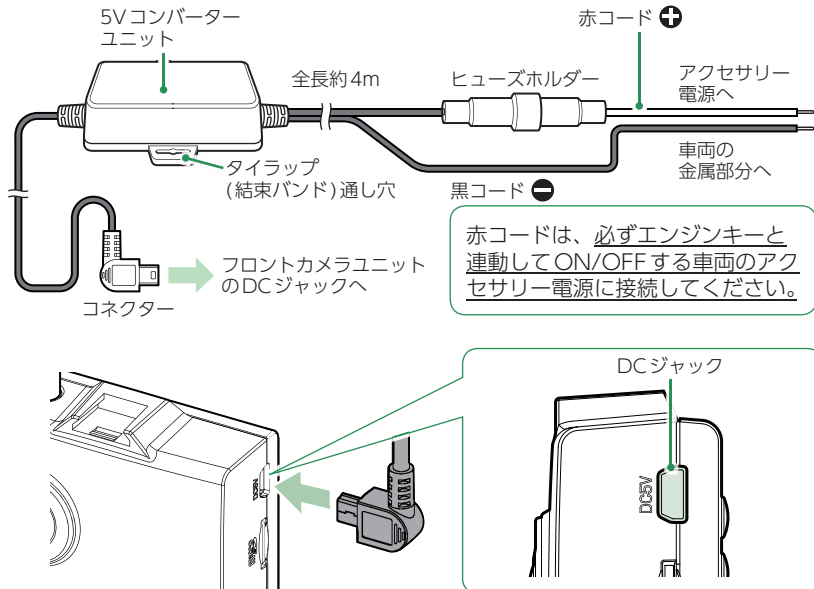
付属の電源直結コードを接続します。

※別売品で接続する場合は(● P.35「別売品の取り付け」)を参照ください。

⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

4-1 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックと車両へ接続します。

- ※ 付属の電源直結コード、または別売品のACアダプターをご使用ください。(P.16)
- ※ 電源はDC12V(マイナスアース)車専用です。24V車ではご使用いただけません。
- ※ 電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。
- うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

4-2 市販品のタイラップ(結束バンド)や両面テープなどを使い、5Vコンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線完了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

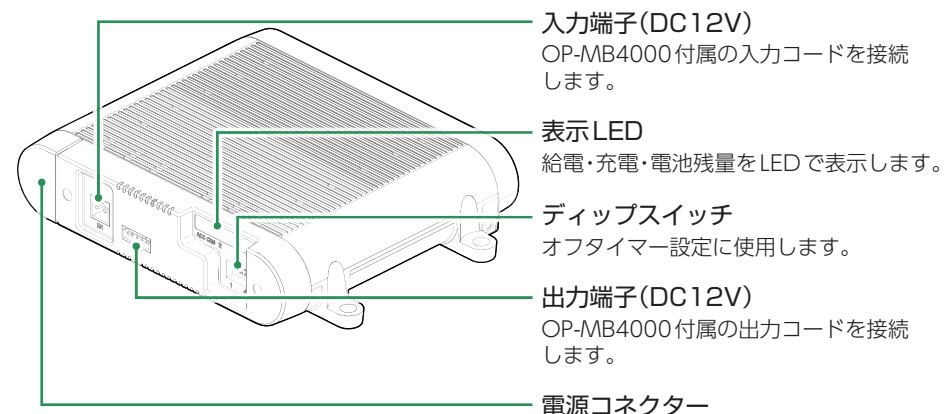
別売品の取り付け

1. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

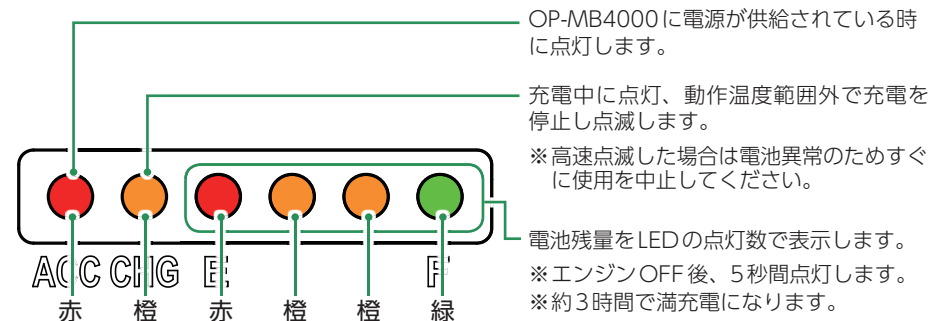
⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ・OP-MB4000を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクタを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
- ※ 電源コネクタを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ・ディップスイッチを操作できる位置へ取り付けてください。

■ OP-MB4000



■ 表示LEDについて

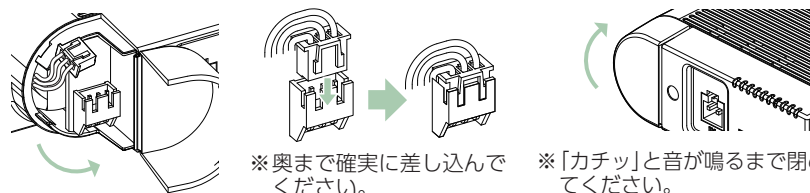


■ OP-MB4000 接続時に必要なもの

- ① OP-MB4000 ② OP-MB4000 付属入力コード ③ OP-MB4000 付属出力コード
④ 5V コンバーター付電源直結コード (ドライブレコーダー 付属) ⑤ 市販品接続端子

1-1 電源コネクタを接続する

- ① カバーを開ける ② 電源コネクタを接続する ③ カバーを閉じる



1-2 オフタイマー設定をする

エンジンOFF後、OP-MB4000内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定(オフタイマー設定)します。

お買い上げ時(工場出荷時)のままでは、使用できません。エンジンOFF時にディップスイッチの操作を行ってください。エンジンONした際に設定が反映されます。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
※オフタイマー設定に関係なく、OP-MB4000内蔵電池が少なくなった場合にはOP-MB4000内蔵電池からの電源供給を自動的に停止し駐車記録は行いません。

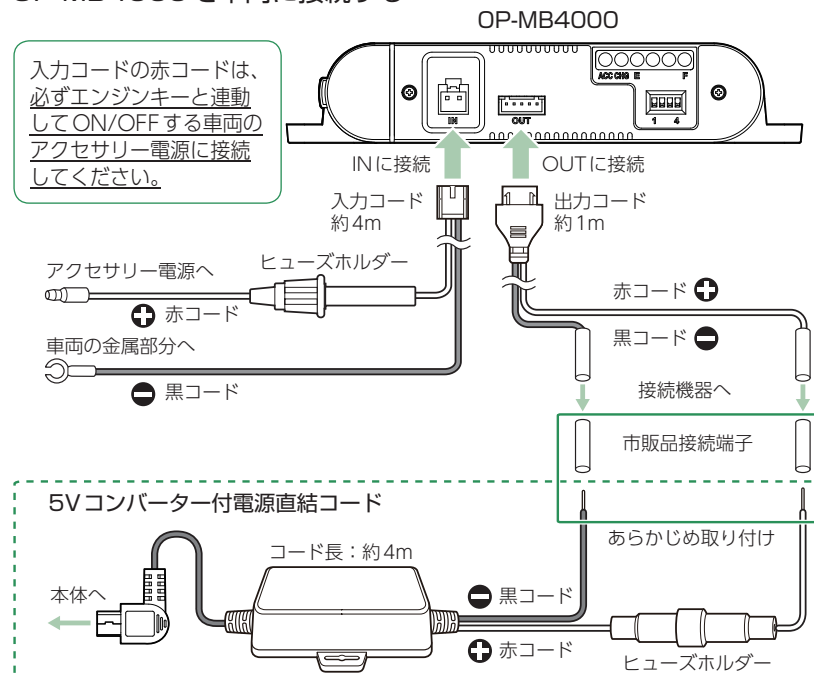
■ オフタイマー設定



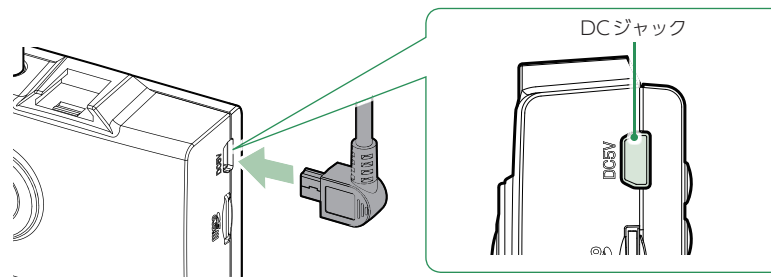
オフタイマー設定について

オフタイマー設定を[使用しない(0時間)]に設定した場合、駐車記録は行いません。OP-MB4000の内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

1-3 OP-MB4000 を車両に接続する



1-4 電源直結コードを接続する



付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-5 OP-MB4000 付属の面ファスナーや市販品のタイラップなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ディップスイッチの操作ができない場所。

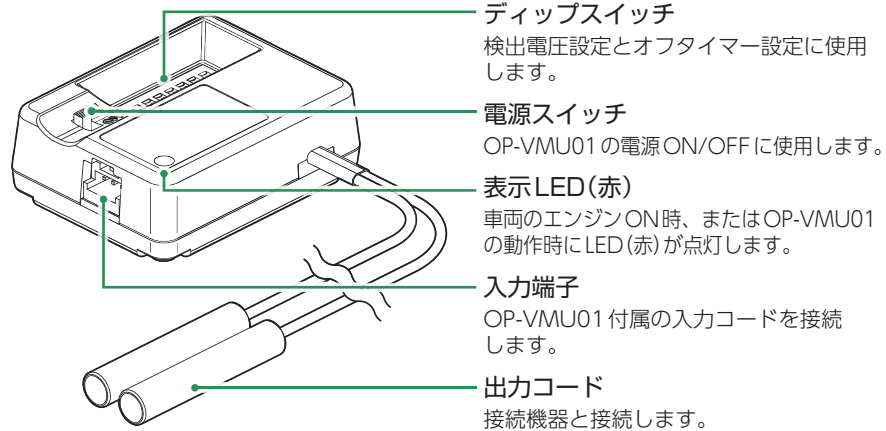
取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. 電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)の接続方法

注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ・2日以上使用しない場合は、電源スイッチをOFFにしてください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- ※ 電源スイッチをOFFにした場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ・ディップスイッチを操作できる位置へ取り付けてください。

■ OP-VMU01

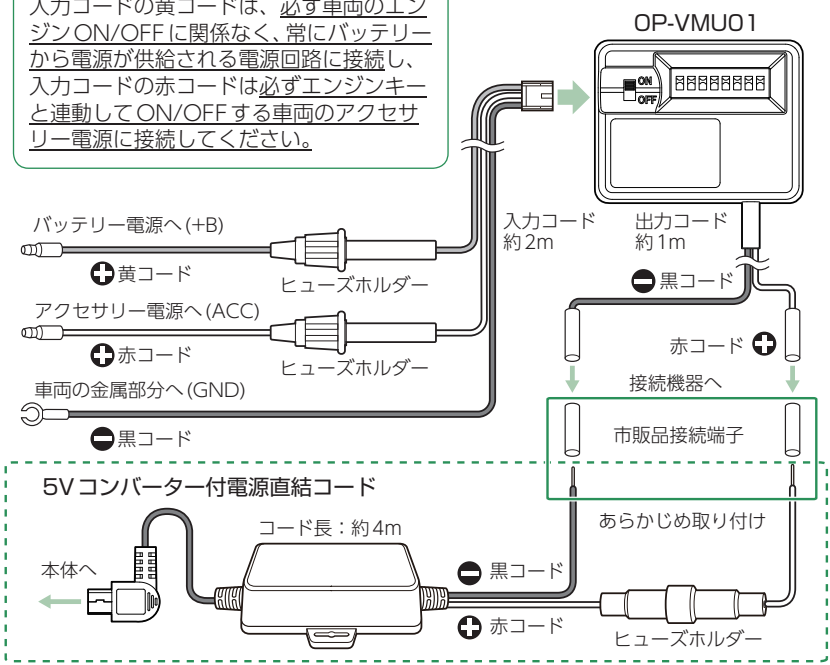


■ OP-VMU01 接続時に必要なもの

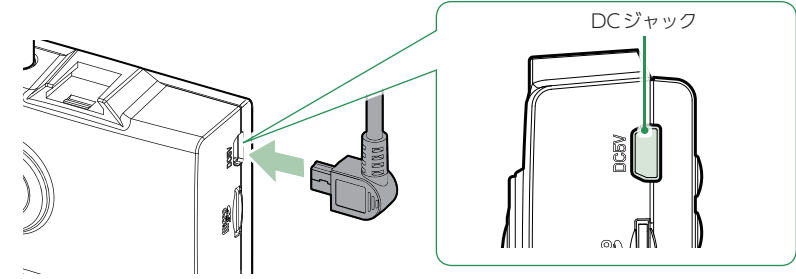
- ① OP-VMU01 ② OP-VMU01 付属入力コード
- ③ 5V コンバーター付電源直結コード (ドライブレコーダー付属) ④ 市販品接続端子

2-1 OP-VMU01 を車両に接続する

入力コードの黄コードは、必ず車両のエンジンON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続し、入力コードの赤コードは必ずエンジンキーと連動してON/OFFする車両のアクセサリ電源に接続してください。



2-2 電源直結コードを接続する

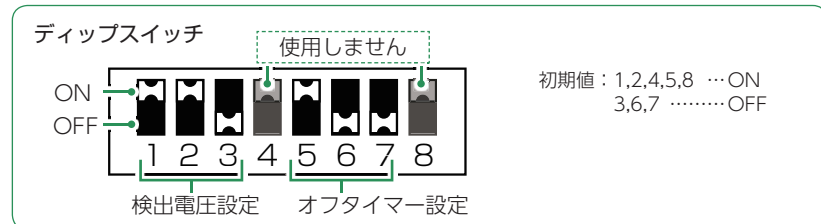


付属の電源直結コードをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。
※ 電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

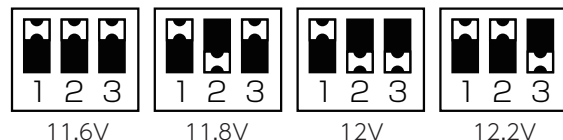
2-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

エンジンOFF後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、エンジンOFF後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

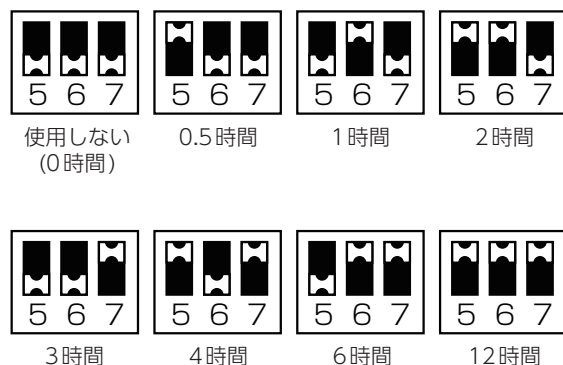
※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
 ※ディップスイッチの4、8は使用しません。初期値(ON)のまま変更しないでください。
 ※オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーから電源供給を停止します。



■ 検出電圧設定(1～3使用) 12V車



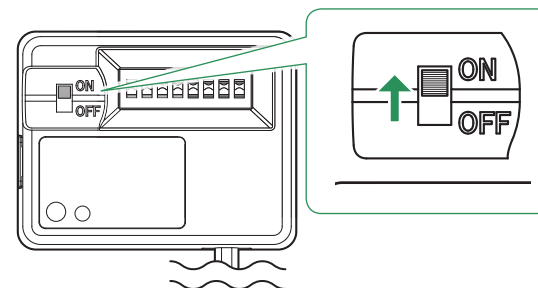
■ オフタイマー設定(5～7使用)



オフタイマー設定について

オフタイマー設定を[使用しない(0時間)]に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-4 電源スイッチをONにする



2-5 OP-VMU01 付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
- ・ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合は下記手順に沿って操作の確認をお願いします。

エンジン ON

エンジン OFF

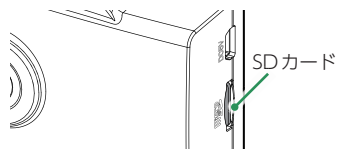
録画の開始	録画の停止	フォーマット*	録画の再開	ワンタッチ記録	画面切替	録画の停止
1	2	3	4	5	6	7

※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源 ON (録画を開始する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する



- ・SDカードが挿入されていないときは…
電源 OFF 後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。
➡ P.17「SDカードの取り外し/装着」

1-2 車両のエンジンを ON する



・電源ランプについて

ランプの状態	本体の動作
赤色の点灯	常時録画中
赤色の点滅	イベント記録中
緑の点灯	上記以外の動作
消灯	電源 OFF

電源ランプ (赤) が点灯、録画アイコンを表示して録画を開始します。

GPS を測位すると  アイコンを表示し GPS 情報を取得します。

※GPS 情報を取得すると、自動的に日時を調整します。

※GPS の測位に失敗すると  アイコンを表示します。

・録画開始までの時間について…

本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。電源ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

・SDカードのチェック機能について…

SDカードの破損や不具合を見つけたらお知らせします。(➡ P.68)

・GPS測位について…

購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10分～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させます。

2. 録画を停止する

※タイムラプスモード中は、録画を停止することはできません。タイムラプスモードを終了してから行ってください。

2-1 録画中にOKボタンを押す



録画を停止します。

※録画停止中は電源ランプ (緑) が点灯、録画アイコンの表示が消えます。

※録画を再開する場合は、再度OKボタンを押してください。

3. SDカードをフォーマットする

付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。フォーマット方法は、➡ P.12、50を参照ください。

フォーマットを行うと、全ての録画ファイルが削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

・録画ファイルのバックアップ… ➡ P.66「録画ファイルの読み出しについて」

4. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプ (赤) が点灯し録画アイコンを表示します。

4-1 録画停止中にOKボタンを押す



録画を開始します。

設定メニューの場合は ➡ P.47、再生モードの場合は ➡ P.53を参照ください。

5. ワンタッチ記録をする

5-1 常時録画中に、 ボタンを押す



イベント記録アイコンを表示し、電源ランプ(赤)が点滅します。

※ワンタッチ記録終了後は、自動で常時録画を開始します。また、右下のファイル数に加算されます。(P.18)

※ワンタッチ記録の詳細は、P.21を参照ください。

6. 画面表示を切り替える

6-1 ボタンを押す



 ボタンを押すたびに、画面表示が切り替わります。

7. 電源OFF(録画を停止する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

7-1 車両のエンジンをOFFする

録画が停止し、電源OFFになります。

撮影した映像は「本機」「専用ソフト」「パソコン」から確認することができます。

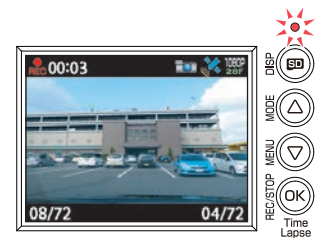
- ・本機  P.51「再生モードの表示・再生方法」
- ・専用ソフト  P.61「専用ビューアソフトで再生する」
- ・パソコン  P.66「録画ファイルの読み出しについて」

別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニット接続時

※長時間駐車を行う場合は、タイムラプスモードにすることをお勧めします。(P.24)

■ A：タイムラプスモードを使用する場合

A-1 車両のエンジンをOFFする



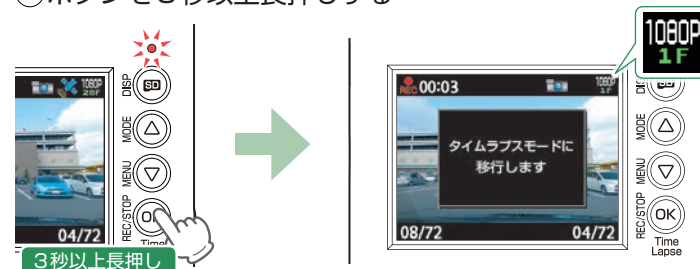
・駐車記録とは…

エンジンOFF状態で外部電源により駐車中に記録を行うこと。

録画を継続し、駐車記録を行います。

※別売品の設定によっては電源OFFします。

A-2 ボタンを3秒以上長押しする



「タイムラプスモードへ移行します」と表示し、タイムラプスモードで録画を開始します。

※タイムラプスモード中はフレームレートが1コマ/秒になりアイコンが「1F」、GPSアイコンが非表示になります。

※タイムラプスモード中の動作は P.24を参照ください。

A-3 車両のエンジンをONする

駐車記録が継続している場合、録画をタイムラプスモードで継続して行います。

 ボタンを3秒以上長押ししてタイムラプスモードを終了してください。

終了後、自動で録画を開始します。

駐車記録が停止している場合、通常の録画を開始します。

■ B：タイムラプスモードを使用しない場合

B-1 車両のエンジンをOFFする



・駐車記録とは…

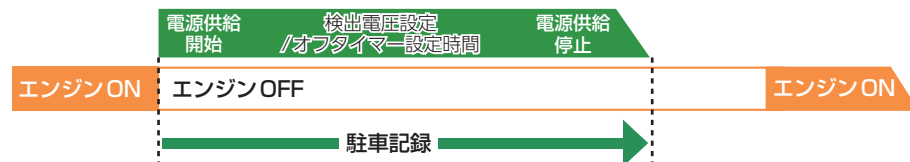
エンジンOFF状態で外部電源により駐車中に記録を行うこと。

録画を継続し、駐車記録を行います。
※別売品の設定によっては電源OFFします。

B-2 車両のエンジンをONする

駐車記録が継続している場合、録画を継続して行います。
駐車記録が停止している場合、録画を開始します。

■ 駐車記録時の動作



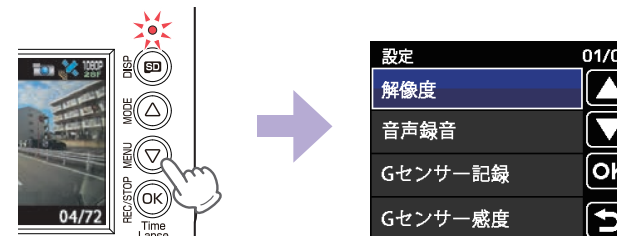
検出電圧設定、またはオフタイマー設定により駐車記録を停止します。(P.36、40)
※マルチバッテリー (OP-MB4000) はオフタイマー設定のみになります。
※強制的に駐車記録を停止する場合は、本体のDCジャックから電源コードを取り外してください。(P.11)

設定メニューの表示方法

※タイムラプスモード中は、設定を行うことはできません。タイムラプスモードを終了してから行ってください。(P.25)

1. 設定メニューを表示する

1-1 動画記録モードで ⑦ ボタンを押す



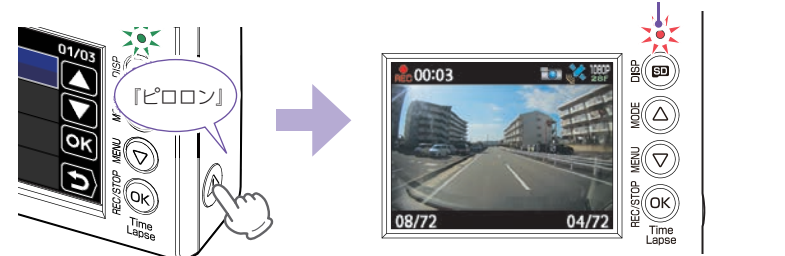
設定メニューを表示します。

<設定メニュー画面>

2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。
録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

2-1 設定メニューで ⑧ ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動的に録画を開始します。

設定メニュー

設定を確認または変更します。
※設定メニューの表示方法は P.47 参照ください。

設定01/03

解像度

音声録音

Gセンサー記録

Gセンサー感度

設定02/03

上書きモード

リアカメラ

日時

音量

設定03/03

画面自動オフ

SD初期化

設定初期化

バージョン

<設定メニュー 1/3>

<設定メニュー 2/3>

<設定メニュー 3/3>

項 目	設 定	説 明
解像度※1※2	1080 / 1080 28(★)	解像度とフレームレートを設定します。 ※ 解像度を下げると、録画可能時間を増やすことができます。 ※ 1080 : 1920 × 1080、720 : 1280 × 720 28 : 28コマ/秒、14 : 14コマ/秒 1080 / 1080 28 — フレームレート (録画コマ数) └── リアカメラ解像度 └── フロントカメラ解像度
	720 / 720 28	
	1080 / 1080 14	
	720 / 720 14	
音声録音	OFF	音声録音のON/OFFを設定します。
	ON(★)	
Gセンサー記録	OFF	Gセンサー記録を使用するかON/OFFで設定します。
	ON(★)	
Gセンサー感度	X : 0.5 ~ 4.0G (1.0G★)	X (前後方向)、Y (左右方向)、Z (上下方向) の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。
	Y : 0.5 ~ 4.0G (1.0G★)	
	Z : 0.5 ~ 4.0G (1.0G★)	

※1：タイムラプスモード中の1ファイルの記録時間は、解像度で設定したフレームレートが反映されます。(28：14分、14：7分)
※2：解像度を変更する場合、フォーマットが必要になります。フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてから変更してください。

★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
上書きモード	上書き禁止	詳細は P.22 を参照ください。
	常時録画上書き	
	全て上書き(★)	
リアカメラ	正像(★)	リアカメラで撮影する映像を正像/鏡像で切り替えることができます。*6
	鏡像	
日時*3	—	日付や時刻を設定します。
音量*4	OFF / 20% / 40% / 60% / 80%(★) / 100%	本機の音量を設定します。 ※ 音量は起動音、操作音、常時録画/イベント記録開始時の音、メッセージの音、録画ファイル再生音に反映されます。
画面自動オフ*5	30秒後 / 3分後 / 5分後 / 常時ON(★)	録画開始から設定時間が経過すると、画面を自動的にOFFします。 ※ 画面ONする場合は、各ボタンを押してください。
SD初期化 (P.50)	キャンセル	SDカードを初期化(フォーマット)します。 ※ 録画ファイルが全て削除されます。
	実行	
設定初期化	キャンセル	本機をご購入時の設定に戻します。
	実行	
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

※3：GPS測位した場合は、取得した日時情報が優先されます。
※4：音と音声を個別に設定することはできません。
※5：タイムラプスモード中は、設定に関わらず1分後に画面OFFします。
※6：リアカメラの設定を[鏡像]にした場合、リアカメラの記録映像も[鏡像]となります。

設定メニュー時のボタン機能

ボタン	機 能	
⏻ ボタン	使用しません。	
⏮ ボタン	短押し	設定項目を選択したり、値を増加します。
⏭ ボタン	短押し	設定項目を選択したり、値を減少します。
⏹ ボタン	短押し	選択項目を決定します。
⏪ ボタン	短押し	前の画面へ戻ります。

SD初期化(フォーマット)

付属品以外のSDカードを使用する場合、初期起動時に必ず本機でフォーマットしてください。

※フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

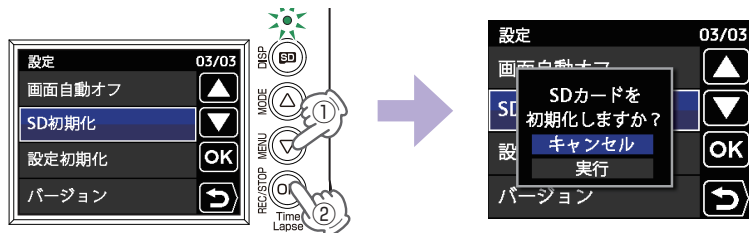
※ボタンでフォーマットする方法は  P.12「SDカードをフォーマットする」を参照ください。

※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

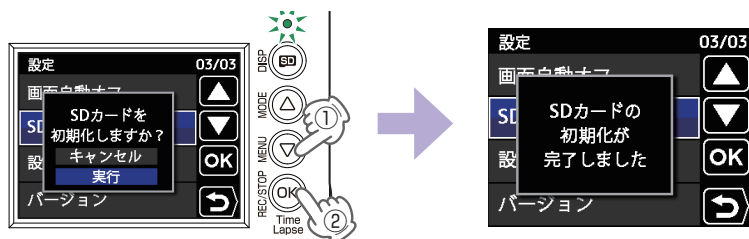
1. SDカードをフォーマットする

1-1 設定メニューを表示する(P.47)

1-2 [SD初期化]を選択し、ボタンを押す



1-3 [実行]を選択し、ボタンを押す



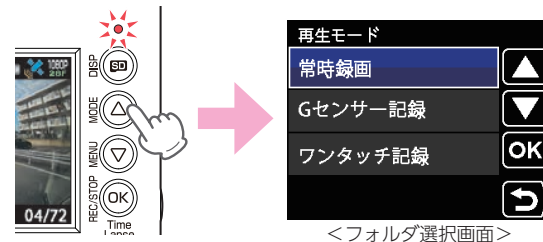
「SDカードの初期化が完了しました」と数秒表示し、フォーマットは完了します。完了後は自動的に設定メニューへ戻ります。

再生モードの表示・再生方法

※タイムラプスモード中は、再生を行うことはできません。タイムラプスモードを終了してから行ってください。( P.25)

1. 再生モードを表示する

1-1 動画記録モードで ボタンを押す

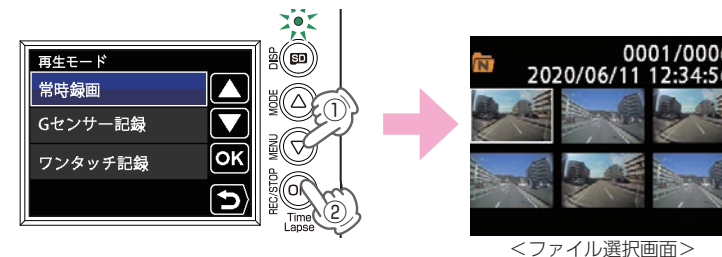


- ・常時録画とは  P.21
- ・Gセンサー記録とは  P.21
- ・ワンタッチ記録とは  P.21

再生モードのフォルダ選択画面を表示します。
※駐車記録中の録画ファイルは「常時録画」に記録されます。

2. 本機で録画ファイルを再生する

2-1 記録方法を選択し、 ボタンを押す

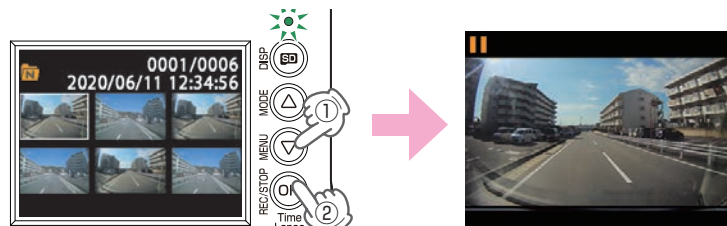


ファイル選択画面を表示します。
※ファイルがない場合、ファイル選択画面上に「ファイルがありません」と表示します。
 ボタンを押すとフォルダ選択画面に戻ります。

※再生できないファイルがある場合、ファイル選択画面上に  を表示します。



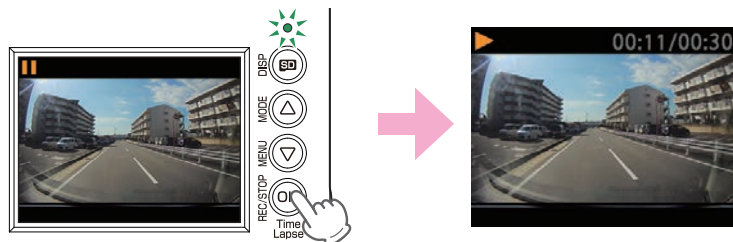
2-2 録画ファイルを選択し、**OK**ボタンを押す



ファイル再生画面を表示します。

<ファイル再生画面>

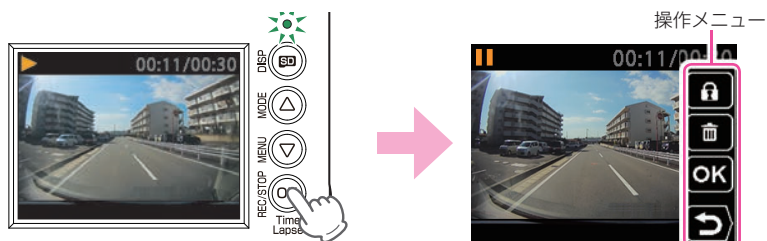
2-3 **OK**ボタンを押す



録画ファイルを再生します。
録画ファイルが複数ある場合は、連続して再生します。
※音量が[OFF]の場合、音声は鳴りません。(P.48)

3. 再生中の録画ファイルを一時停止する

3-1 再生中に**OK**ボタンを押す

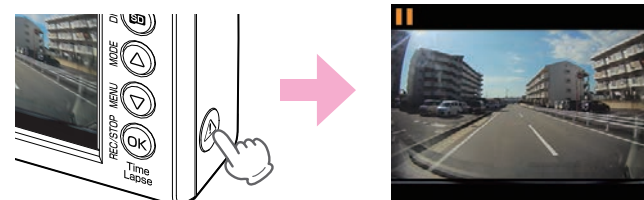


再生を一時停止し、操作メニューを表示します。
再生を再開する場合は、もう一度 **OK** ボタンを押してください。
※一時停止中に **△** ボタンを押しても再生を再開できません。

4. 録画を再開する

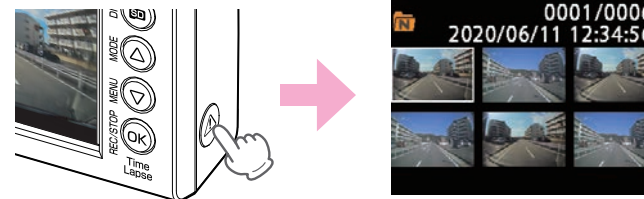
録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

4-1 再生中に**△**ボタンを押す



再生を停止します。

4-2 **△**ボタンを押す



ファイル選択画面を表示します。

<ファイル選択画面>

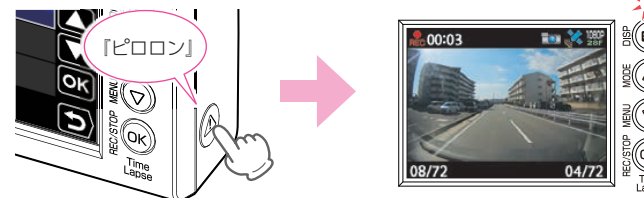
4-3 **△**ボタンを押す



フォルダ選択画面を表示します。

<フォルダ選択画面>

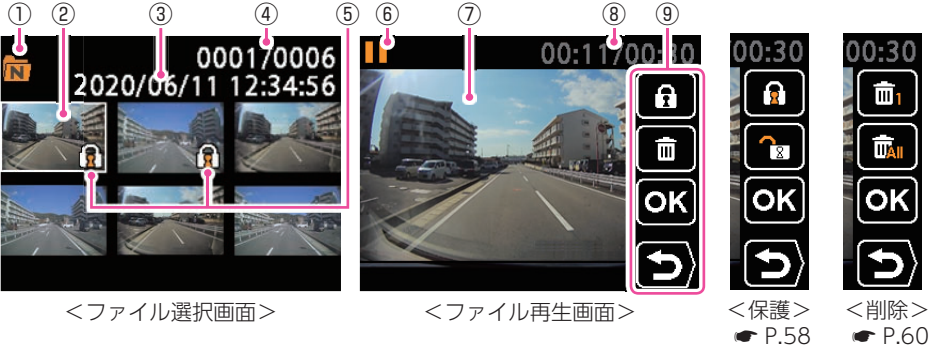
4-4 **△**ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動的に録画を開始します。

再生モード

※再生モードの表示方法は P.51 を参照ください。



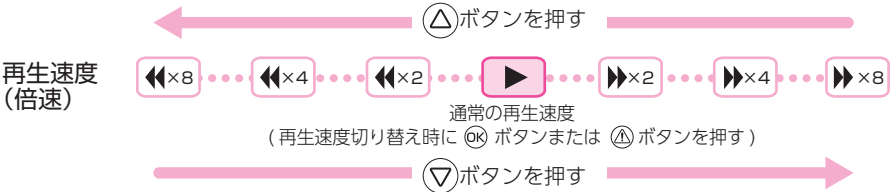
No.	表示名	説 明
①	フォルダアイコン	常時録画フォルダを選択中に表示します。 イベント記録フォルダ (Gセンサー記録とワンタッチ記録) を選択中に表示します。
②	選択中のファイル	選択中の録画ファイルを白色枠で表示します。
③	記録日時	録画した日時を表示します。
④	ファイル数	現在のファイル/総ファイル数を表示します。
⑤	ファイル保護アイコン	保護した録画ファイル上に表示します。(P.56)
⑥	動作アイコン	動作の状態をアイコンで表示します。 再生中に表示します。 早送り中に表示します。 早戻し中に表示します。 一時停止中に表示します。 8倍速の早送り・早戻し中に表示します。 4倍速の早送り・早戻し中に表示します。 2倍速の早送り・早戻し中に表示します。
⑦	記録映像	録画ファイルを再生します。
⑧	再生時間	現在の再生時間/ファイル総時間を表示します。
⑨	操作メニュー	録画ファイルの保護、削除などを行います。(P.57) ※ 操作メニューは一時停止中のみ表示します。

再生モード時のボタンの機能

ボタン	動 作	機 能
⏮ ボタン	ファイル再生時	短押し 再生中に押すとフロント/リアで画面表示を切り替えます。
⏪ ボタン	ファイル選択時	短押し 前の録画ファイルを選択します。
	ファイル再生時	短押し 再生中に押すと再生速度を切り替えます。
⏩ ボタン	ファイル選択時	短押し 次の録画ファイルを選択します。
	ファイル再生時	短押し 再生中に押すと再生速度を切り替えます。
⏹ ボタン	ファイル選択時	短押し ファイル再生画面を表示します。
	ファイル再生時	短押し 停止中/一時停止中に押すと再生します。 再生中に押すと一時停止し、操作メニューを表示します。 再生速度切り替え時に押すと、通常の再生速度に戻ります。
⏮ ボタン	ファイル選択時	短押し 前の画面へ戻ります。
	ファイル再生時	短押し 再生中に押すと停止します。もう一度押すと前の画面に戻ります。 一時停止中に押すと再生します。 再生速度切り替え時に押すと、通常の再生速度に戻ります。

再生速度の切り替え

ファイル再生画面を表示すると、通常の再生速度(×1倍速)で再生されます。
⏪ ボタンと⏩ ボタンを押すことで再生速度を切り替えます。
再生速度切り替え時に、⏹ ボタンまたは⏮ ボタンを押すと通常の再生速度に戻ります。



※>> は早送り、<< は早戻し、▶ は通常の再生です。
※早送り、早戻し中は音声は再生されません。

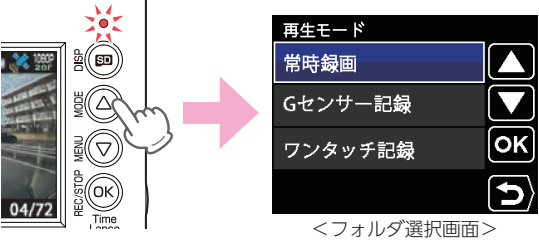
録画ファイルの保護 / 保護解除・削除について

録画ファイルは下記の手順で保護 / 保護解除、または削除することができます。

- ※ 保護した録画ファイルは、フォーマット以外の操作では削除されません。
- ※ 保護した録画ファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除してから削除するか、フォーマットすることで削除できます。フォーマットを行うと、全ての録画ファイルを削除します。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。(☞ P.12、50)
- ※ 初期値では、保護していない録画ファイルは各記録方法の上限に達すると上書きされます。(初期値「上書きモード：全て上書き」)
- ※ フロントカメラとリアカメラのどちらかの録画ファイルを保護 / 保護解除、または削除した場合、対になる録画ファイルも一緒に保護 / 保護解除または削除されます。

1. 操作メニューを表示する

1-1 動画記録モードで△ボタンを押す



- ・常時録画とは
☞ P.21
- ・Gセンサー記録とは
☞ P.21
- ・ワンタッチ記録とは
☞ P.21

<フォルダ選択画面>

再生モードのフォルダ選択画面を表示します。

1-2 記録方法を選択し、OKボタンを押す

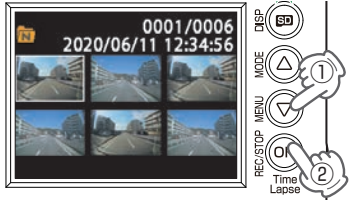


ファイル選択画面を表示します。



<ファイル選択画面>

1-3 録画ファイルを選択し、OKボタンを押す



ファイル再生画面を表示します。



<ファイル再生画面>

1-4 OKボタンを押す



録画ファイルを再生します。



1-5 OKボタンを押す



録画ファイルが一時停止し、操作メニューを表示します。



操作メニュー

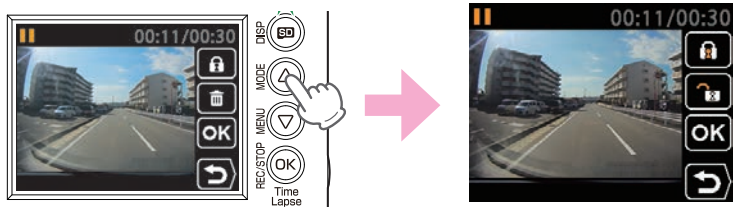
■ 操作メニュー時のボタン機能

アイコン	本体ボタン	説 明		
—	SD ボタン	使用しません。		
	△ ボタン	保護	短押し	録画ファイルを保護します。(☞ P.58)
		保護解除	短押し	録画ファイルを保護解除します。(☞ P.59)
	▽ ボタン	削除	短押し	録画ファイルを削除します。(☞ P.60)
		すべて削除	短押し	フォルダ内の録画ファイルを全て削除します。(☞ P.60)
	OK ボタン	決定	短押し	選択項目を決定します。
	△ ボタン	戻る	短押し	前の画面に戻ります。

2. 録画ファイルを保護する

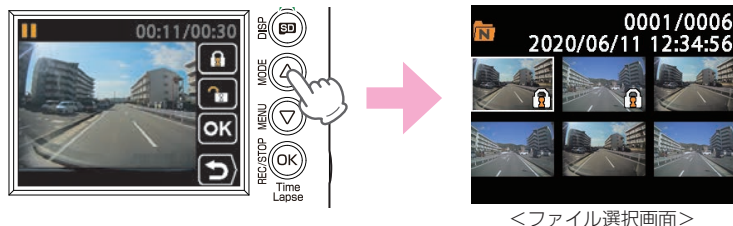
2-1 保護したい録画ファイルを選択し、操作メニューを表示する
(☞ P.56)

2-2 ④ボタンを押す



選択中の録画ファイルを「保護」、または「保護解除」を選択できます。

2-3 ④ボタンを押す



表示中の録画ファイルと対になる録画ファイルを保護します。保護が完了すると、ファイル選択画面へ戻ります。

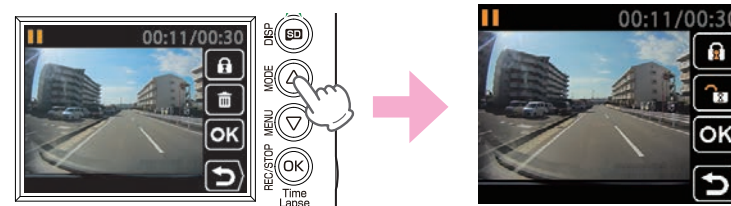
※保護したファイルでSDカードがいっぱいになると、本機の記録が停止します。
必要に応じて録画ファイルをバックアップなどしてから、本機でSDカードをフォーマットしてください。(☞ P.12、50)

保護が完了すると、ファイル選択画面上に  アイコンを表示します。

3. 録画ファイルの保護を解除する

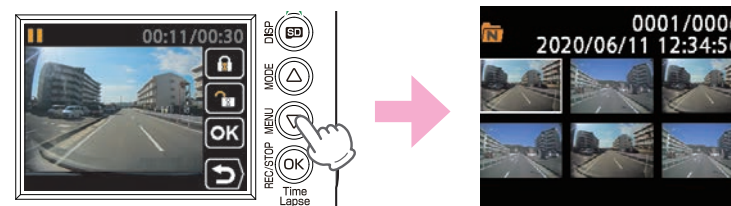
3-1 保護解除したい録画ファイルを選択し、操作メニューを表示する
(☞ P.56)

3-2 ④ボタンを押す



選択中の録画ファイルを「保護」、または「保護解除」を選択できます。

3-3 ⑤ボタンを押す



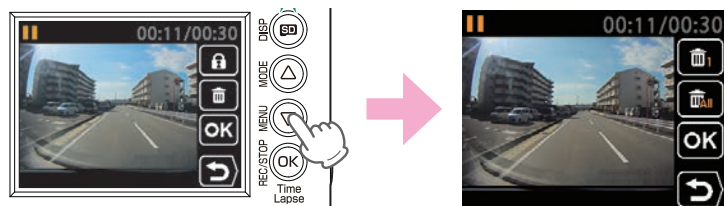
表示中の録画ファイルと対になる録画ファイルを保護解除します。保護解除が完了すると、ファイル選択画面へ戻ります。

保護解除すると、ファイル選択画面上の  アイコンの表示が消えます。

4. 録画ファイルを削除する

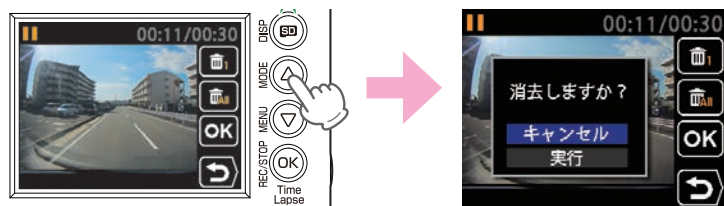
4-1 削除したい録画ファイルを選択し、操作メニューを表示する
(P.56)

4-2 ⑦ ボタンを押す

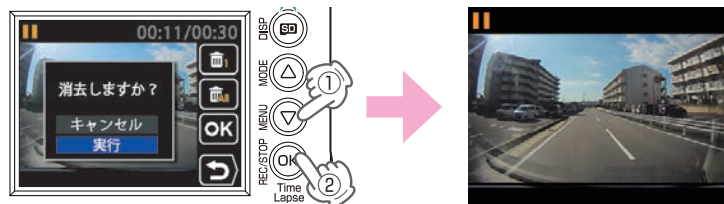


選択中の録画ファイルを「削除」、または「すべて削除」を選択できます。

4-3 ④ ボタンを押す



4-4 「実行」を選択し、OK ボタンを押す



表示中の録画ファイルと対になる録画ファイルを消去します。
消去が完了すると、次の録画ファイルのファイル再生画面になります。
※ 保護されたファイルの場合、「ファイル保護されています 消去できません」と表示し、
削除することはできません。保護解除 (P.58) してから削除を行ってください。

フォルダ内の録画ファイルを全て削除する場合は、手順「4-3」で⑦ ボタンを押して「すべて削除」を選択してください。

専用ビューアソフトで再生する

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフト「PCViewer TypeN」をインストールすることにより、Google Mapsと連動させて表示することができます。

1. 専用ビューアソフトをインストールする

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

OS : Microsoft Windows 10
CPU : Intel Core i3、2.7GHz以上
メモリ : 4GB 以上

(2020年7月現在)

※ CPU性能、RAMの状態、他アプリケーションの同時作動等、環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。
※ 誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。
※ WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

2-1 [PCViewer TypeN] アイコンをクリックする



専用ビューアソフトが起動します。

※ 専用ビューアソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。

3. 録画ファイルを再生する

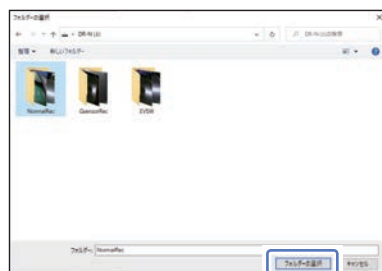
3-1 リーダーライターをパソコンに接続し、SDカードをリーダーライターに接続する



3-2 (フォルダを選択) をクリックする



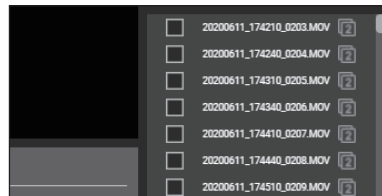
3-3 接続したSDカードのフォルダを選択し、[OK]をクリックする



- ・フォルダ名について
常時録画 …… [NormalRec] フォルダ
Gセンサー記録 … [GsensorRec] フォルダ
ワンタッチ記録 … [EVSW] フォルダ
- ※ タイムラプスモード専用のフォルダはありません。常時録画、Gセンサー記録のフォルダをご確認ください。

選択したフォルダの録画ファイルを読み込みます。

3-4 録画ファイルをダブルクリックする



- ・専用ビューアソフトの詳細は…
P.63「専用ビューアソフト」

選択した録画ファイルを再生します。

※ リアカメラの映像も自動で表示されます。(別ウィンドウ表示)

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1 専用ビューアソフト右上の × をクリックする



専用ビューアソフトが終了します。

※ リアカメラの別ウィンドウ × をクリックでも終了します。

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Gセンサーグラフ等を表示できます。

※ インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について



<標準表示(フロントカメラ)>



<標準表示(リアカメラ)>



<全画面表示(フロントカメラ)>

※ 録画ファイル再生時に自動で表示されます。(別ウィンドウ表示)

No.	表示名	説 明		
①	ソフトウェア名称	専用ビューアソフトの名称を表示します。		
②	ファイル コントロール		再生/ 一時停止	録画ファイルを再生/一時停止します。 ※ 再生リストに複数の録画ファイルがある場合、 連続して再生します。 ※ 再生画面をクリックでも再生/一時停止できます。
			前のフレーム	クリック毎に1フレーム前の映像を表示します。
			静止画変換	再生中、一時停止中の映像から静止画 (JPEG ファイル) に変換して保存します。
			次のフレーム	クリック毎に1フレーム後の映像を表示します。
			前のファイル	前の録画ファイルを再生します。
			次のファイル	次の録画ファイルを再生します。
			再生速度を 下げる	クリック毎に早戻し速度が変化します。 (1.0 ~ 0.3 倍速)
			再生速度を 上げる	クリック毎に早送り速度が変化します。 (1.0 ~ 4.0 倍速)
③	Gセンサーグラフ	録画ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸 でグラフ表示します。		
④	バージョン情報	専用ビューアソフトのバージョンを表示します。		
⑤	再生時間	再生中の現在時間/全体時間を表示します。		
⑥	タイムライン	クリック位置から再生できます。		
⑦	音量	アイコンクリックでミュートON/OFF できます。 アイコンにカーソルを合わせると音量バーが表示され、左右操作で 音量を調整できます。		
⑧	—	本機では使用しません。		
⑨	全画面表示	全画面表示になります。		
⑩	記録日時	記録した日時を表示します。		
⑪	メニュー		全て選択	全てのファイルにチェックを入れます。 ※ ファイルを個別に選択する場合は、ファイル名の 左側チェックボックスをクリックしてください。
			フォルダを選択	フォルダ内のファイルを再生リストに追加します。
			ファイルを選択	1 ファイルを再生リストに追加します。
			削除	チェックが入った録画ファイルを削除します。
			全てループ	ループ(繰り返し)の動作を切り替えます。  : 再生リストループ再生します。
			1 ファイル ループ	 : 1 ファイルをループ再生します。
			ループしない	 : 再生リスト最後の録画ファイルを再生後、 停止します。

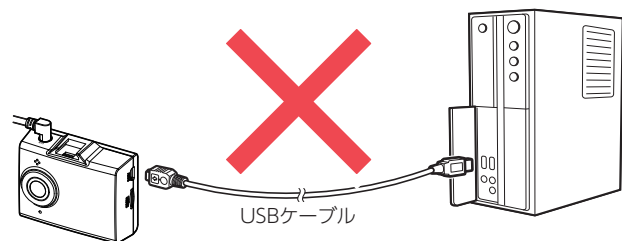
No.	表示名	説 明		
⑫	再生リスト	録画ファイルの録画終了日時(年月日と時分秒)を表示します。 フロント+リアカメラには  が表示されます。 ※ ファイル名の詳細は  P.66「ファイル名について」を参照ください。		
⑬	緯度経度	GPS で記録した緯度経度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。		
⑭	走行速度	GPS で記録した走行速度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。		
⑮	標高	GPS で記録した標高を表示します。(単位: メートル(m)) ※ GPS データがない場合は変化しません。		
⑯	地図	読み込まれた映像は Google Maps に連動して自車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図 (Google Maps) は表示されません。		
⑰	再生速度	再生速度を表示します。(0.3 ~ 4.0 x)		
⑱	プログラム	—	最小化	ウィンドウを最小化します。
		□	最大化 /元に戻す	ウィンドウを最大化/元に戻します。
		×	閉じる	ソフトウェアを終了します。
⑲	ミラー表示切り替え	リアカメラの映像を左右反転します。		

録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS : Microsoft Windows 10
CPU : Intel Core i3、2.7GHz以上
メモリ : 4GB 以上

(2020年7月現在)



※CPU性能、RAMの状態、他アプリケーションの同時作動等、環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。

本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。

※推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 20200611_123456_0001R.MOV — 動画

記録日(年月日) 記録時間(時分秒) ファイル番号
(リアカメラの映像には「R」が付きます。)

■ フォルダ構造について

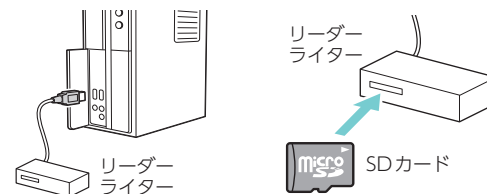
各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

SDカード

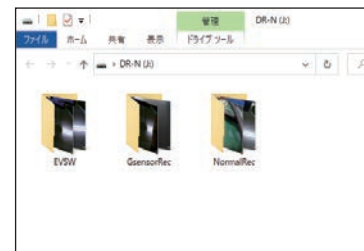
- NormalRec — 20200611_123456_0001.MOV
- GsensorRec — 20200611_133456_0002.MOV
- EVSW — 20200611_143456_0003.MOV

1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する

1-1 リーダーライターをパソコンに接続し、SDカードをリーダーライターに接続する



1-2 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



・フォルダ名について

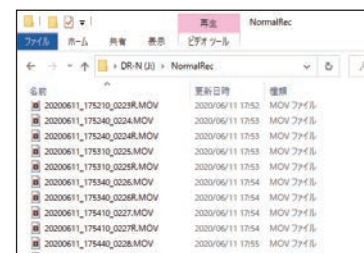
常時録画…「NormalRec」フォルダ

Gセンサー記録…「GsensorRec」フォルダ

ワンタッチ記録…「EVSW」フォルダ

※タイムラプスモード専用のフォルダはありません。常時録画、Gセンサー記録のフォルダをご確認ください。

1-3 録画ファイルをダブルクリックする



Windows標準の「映画&テレビ」で再生することができます。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にメッセージと音でお知らせします。

メッセージ表示を止める場合は、各ボタンを押してください。

※SDカードエラーが頻繁に出る場合は、新しいSDカードに交換してください。

メッセージ	対処方法
SDカードを 挿入してください	☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(P.17) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。 
SDカードエラー	☐ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。 ・記録媒体：microSDHCカード ・容量：8～32GB ・SDスピードクラス：Class10以上 ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(P.17) ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。 ☐ 本機でSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、全ての録画ファイルが全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(P.12、50) ☐ SDカードは定期的に新品に交換してください。 SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
ファイル 保護されています 消去できません	☐ パソコンなどで録画ファイルを削除してください。 本機で削除できない場合、パソコンなどで録画ファイルを削除してください。(P.66) ☐ 本機でSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、全ての録画ファイルが全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(P.12、50)
SDカードを 読み込めません	☐ SDカードを認識できていません。 左のメッセージを表示したあとに、「SDカードを初期化しますか?」と表示し、そのまま初期化(フォーマット)を行うことができます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(P.12、50)

メッセージ

SDカードが
いっぱいです

Gセンサー領域が
いっぱいです

ワンタッチ領域が
いっぱいです

SDカードの
初期化に
失敗しました

対処方法

☐ 上書きモードが[上書き禁止]になっていませんか。
 上書きモードを[上書き禁止]に設定した場合、常時録画がSDカード容量の上限に達すると、録画を停止します。
 上書きモードの設定は、 P.48を参照ください。

☐ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。
 保護したファイルは、上書きできません。
 保護を解除する(P.58)か、SDカードをフォーマットする(P.12、50)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。保護したファイルには、ファイル選択画面上で アイコンを表示します。



<ファイル選択画面>

☐ 本機でSDカードをフォーマットしてください。
 フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(P.12、50)

☐ 上書きモードが[上書き禁止]または[常時録画上書き]になっていませんか。
 上書きモードを[上書き禁止]または[常時録画上書き]に設定した場合、イベント記録が最大記録ファイル数(※1)に達すると、イベント記録を停止します。上書きモードの設定は、「設定メニュー」→「上書きモード」で確認できます。(P.48)

☐ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。
 保護したファイルは、上書きできません。
 保護を解除する(P.58)か、SDカードをフォーマットする(P.12、50)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。保護したファイルには、ファイル選択画面上で アイコンを表示します。



<ファイル選択画面>

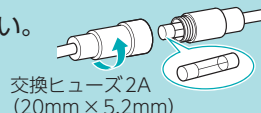
☐ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。
 ・記録媒体：microSDHCカード
 ・容量：8～32GB
 ・SDスピードクラス：Class10以上
☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(P.17)
 ※電源ON中にSDカードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。
☐ 他の機器で認識することができるかを確認してください。
 本機からSDカードを取り外し、パソコンなどの機器に接続して、SDカードが認識できるか確認してください。

※1：最大記録ファイル数に対して、空きが3ファイル以下の場合もイベント記録は停止します。

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

- ☐ 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。
ヒューズホルダーを矢印の方向に回してヒューズを取り出します。



電源はONになるが本体が起動しない / 画面が表示されない

- ☐ リセットボタンを押して再起動してください。(P.14)
- ☐ SDカードを取り外して起動してください。
起動する場合はSDカードが原因となっている可能性があります。本機に対応したSDカードをご確認ください。
(記録媒体：microSDHCカード、容量：8~32GB、スピードクラス：Class 10以上)
- ☐ 画面自動オフの設定が[常時ON]以外になっていませんか。(P.48)
各ボタンを押して画面を表示してください。

車両のエンジンをOFFしても本体電源がOFFにならない

- ☐ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付 電源ユニットを接続していませんか。
設定によっては車両のエンジンOFF後も本体に電源を供給するため本体電源はOFFになりません。強制的に電源OFFする場合は、電源コードを取り外してください。(P.11)

設定 / 再生 / ワンタッチ記録 / 録画停止ができない

- ☐ タイムラプスモードではありませんか。
タイムラプスモード中は[設定][再生][ワンタッチ記録][録画停止]を行うことができません。タイムラプスモード(駐車監視)を終了してから行ってください。(P.24)

イベント記録ファイルがない

- ☐ イベント記録中に電源OFFしていませんか。
イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合があります。
- ☐ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。(P.21「常時録画」)

映像が記録できない

- ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。(P.17)
- ☐ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。
保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(P.58)か、SDカードをフォーマットする(P.12、50)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。保護したファイルには、ファイル選択画面上で🔒アイコンを表示します。

録画ファイルがない

- ☐ 上書きされていませんか。
初期値では上書きモード[全て上書き]のため上限に達すると上書きされます。(P.48)
- ☐ 各専用フォルダを確認してください。(P.51、66)
- ☐ フロントカメラまたはリアカメラの映像を削除していませんか。
どちらかの映像を削除した場合、対になる録画ファイルも一緒に削除されます。あらかじめご了承ください。

リアカメラの映像が映らない

- ☐ リアカメラケーブルのプラグをカメラジャックの奥までしっかりと挿し込んでいますか。
リアカメラユニットが接続されているかアイコンで確認してください。



：リアカメラユニット接続時



：リアカメラユニット未接続時

専用ビューアソフトで地図や走行速度、加速度が表示されない

- ☐ インターネットに接続されていますか。
インターネットに接続されていない場合、地図(Google Maps)は表示されません。
- ☐ GPS測位していましたか。
録画ファイルにGPSデータがない場合、地図(Google Maps)は表示されません。
- ☐ タイムラプスモードで録画していませんか。
タイムラプスモードで録画した場合、GPSデータを記録しないため、地図(Google Maps)は表示されません。

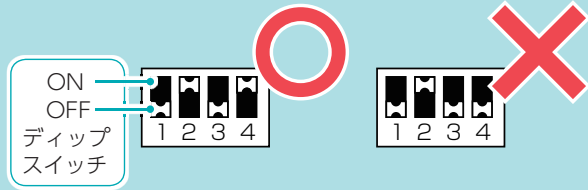
電圧監視機能付 電源ユニット接続時に駐車記録が動作しない

- ☐ 電源スイッチはONになっていますか。
OFF になっている場合は、電圧監視機能付 電源ユニットは動作しません。(● P.38)
- ☐ オフタイマー設定が[使用しない]になっていませんか。
オフタイマー設定が[使用しない]になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
- ☐ エンジンOFF時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。(● P.40)

マルチバッテリー接続時に駐車記録が動作しない

- ☐ 電源コネクターは接続されていますか。
電源コネクターが接続されていないとマルチバッテリーは充電されず、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。(● P.36)
- ☐ オフタイマー設定が[使用しない]になっていませんか。
オフタイマー設定が[使用しない]になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。
- ☐ ディップスイッチ4がOFFになっていませんか。
ディップスイッチ4がOFFになっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。

例：オフタイマー設定を[1時間]に設定する場合



仕様

外形寸法 (突起部除く)	【フロント】 65(幅) × 54(高さ) × 27(奥行)mm (突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時 86(高さ)mm (窓ガラス 25° 想定の場合) 【リア】 57(幅) × 30(直径)mm (突起部除く) ※取付ブラケット(テープ貼付)装着時 39(高さ)mm (窓ガラス 25° 想定の場合)
本体重量	【フロント】 約 76g (microSD カード含む) 【リア】 約 28g
記録媒体	microSD カード (16GB 付属) 8GB ~ 32GB (Class10 以上)
撮像素子	200 万画素カラー CMOS (STARVIS™ 技術搭載※2)
レンズ画角	【フロント】 対角 163° 【リア】 対角 158°
最大記録画角※1	【フロント】 対角 163° (136° (水平)、73° (垂直)) 【リア】 対角 158° (130° (水平)、67° (垂直))
記録解像度	最大 200 万画素 1080P HD (1920 × 1080) / 720P (1280 × 720)
F 値	【フロント・リア】 2.0
GPS	有
G センサー	有 0.5G ~ 4.0G (0.1G 単位で感度調整可能)
画質	HDR (ハイダイナミックレンジ)
記録方式	常時録画 / イベント記録 (G センサー記録、ワンタッチ記録<手動録画>) / 駐車記録 (タイムラプス)
録画ファイル構成	30 秒単位、7 分単位※3、14 分単位※3
音声	ON / OFF 可能
フレームレート	28 コマ / 秒、14 コマ / 秒、1 コマ / 秒※3
映像ファイル形式	MOV
記録映像再生方法	・専用ビューアソフト「PC Viewer TypeN」※4 (弊社ホームページよりダウンロードできます。) ・Windows 標準の「映画 & テレビ」※4
電源電圧	DC 12V マイナスアース車専用 (5V 入力)
消費電力	5W
動作温度範囲	-10℃ ~ +60℃
製品保証期間	3 年 (消耗品は除く)

※上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※1：解像度により記録される視野角が変化します。
超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

※2：STARVIS (スタービズ) は、監視カメラ用途 CMOS イメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニー株式会社の裏面照射型画素技術です。

※3：タイムラプスモード中のみ。

※4：Microsoft Windows10 に対応しています。

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V (最大6A)
出力電圧	出力端子B：12V (1A)
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V/4,000mAh
動作温度範囲	0℃～+45℃
外形寸法	144(幅)×33(高さ)×131(奥行)mm (突起部除く)
本体重量	約950g (内蔵電池含む)

別売品：電圧監視機能付 電源ユニット(OP-VMU01)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	DC12V/24V (入力に準ずる)
検出電圧設定値	12V車：11.6V/11.8V/12V/12.2V、24V車：23.6V/23.8V/24V/24.2V
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
動作温度範囲	－10℃～+60℃
外形寸法	46(幅)×36(高さ)×16(奥行)mm (突起部除く)
本体重量	約34g

- ・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。
- ・STARVISは、ソニー株式会社の商標です。

microSD カード対応一覧表

※本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。フォーマットをしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

記録媒体	microSDHC カード
容量	8～32GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

通常時				
SDカード 容量	1080P HD		720P	
	28コマ/秒(初期値)	14コマ/秒	28コマ/秒	14コマ/秒
32GB	約108分	約176分	約208分	約326分
16GB(付属)	約54分	約87分	約103分	約162分
8GB	約26分	約43分	約51分	約80分

タイムラプスモード時				
SDカード 容量	1080P HD		720P	
	28コマ/秒(初期値)	14コマ/秒	28コマ/秒	14コマ/秒
32GB	約50時間	約40時間	約100時間	約80時間
16GB(付属)	約24時間	約20時間	約48時間	約40時間
8GB	約12時間	約10時間	約24時間	約20時間

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
※使用状況などにより録画可能時間は変化します。
※別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)、または電圧監視機能付電源ユニット(OP-VMU01)を接続して駐車記録(タイムラプスモード)を行う場合、一度に記録できる最大継続時間は約12時間です。

2. イベント記録の最大記録ファイル数 G(Gセンサー記録)/E(ワンタッチ記録)

SDカード 容量	1080P HD		720P	
	28コマ/秒(初期値)	14コマ/秒	28コマ/秒	14コマ/秒
32GB	290 (G:145 / E:145)	468 (G:234 / E:234)	554 (G:277 / E:277)	870 (G:435 / E:435)
16GB(付属)	144 (G:72 / E:72)	232 (G:116 / E:116)	274 (G:137 / E:137)	432 (G:216 / E:216)
8GB	70 (G:35 / E:35)	114 (G:57 / E:57)	136 (G:68 / E:68)	214 (G:107 / E:107)

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
※最大記録ファイル数は、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせたファイル数です。

索引

A

ACアダプター 16

D

DCジャック 13

DISP ボタン 14, 18, 49, 55, 57

G

GPS 73

GPSアイコン 18

Gセンサー 73

Gセンサー感度 22

Gセンサー記録 22

M

MENU ボタン 14, 18, 49, 55, 57

MODE ボタン 14, 18, 49, 55, 57

O

OP-E368 16

OP-MB4000 16, 26, 35, 74

OP-VMU01 16, 26, 38, 74

R

REC/STOP ボタン 14, 18, 49, 55, 57

S

SDカード 10, 17, 75

SDスピードクラス 75

STARVIS 73

あ

アフターサービス 78

い

イベント記録 19, 21

イベント記録アイコン 18

う

上書き禁止 23

上書きモード 22

え

映像ファイル形式 73

お

お客様ご相談センター 78

音声 73

音声録音OFFアイコン 18

か

外形寸法 73

解像度 18, 48, 73

画質 73

カメラジャック 13, 14

画面自動オフ 49

き

記録媒体 73, 75

記録方式 73

記録ボタン 14, 18, 49, 55, 57

さ

再生方法 73

再生モード 54

最大記録画角 73

最大記録ファイル数 75

撮影素子 73

し

ジョイントレール 13

常時録画 19, 21

常時録画上書き 23

消費電力 73

シリアルナンバー 13

す

スピーカー 13

全て上書き 23

せ

製品保証期間 73

設定メニュー 48

専用ビューアソフト 61, 63

た

タイムラプスモード 24

て

電圧監視機能付 電源ユニット 16, 26, 38, 74

電源直結コード 15, 26, 34

電源電圧 73

電源ランプ 13

と

動画記録モード 18

動作温度範囲 73

索引

な

ナット 14

は

バックアップ機能 11

ふ

ファイル名 66

フォーマット 12, 50

付属品・別売品の購入 16

ブラケット 14, 15

フレームレート 18, 73

フロントカメラユニット 13

ほ

本体重量 73

ま

マイク 13

マルチバッテリー 16, 26, 35, 74

め

メンテナンス 26

よ

容量 75

り

リアカメラケーブル 15, 32

リアカメラユニット 14

リアカメラ用ナット 15

リアカメラアイコン 18

リセットボタン 13, 14

れ

レンズ 13, 14

レンズ画角 73

ろ

録画アイコン 18

録画時間 75

録画ファイル構成 73

わ

ワンタッチ記録 22, 44

